

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 大学と連携した地域の健康課題の分析結果報告

令和7年（2025年）3月作成

吹田市 福祉部 高齢福祉室
健康医療部 国民健康保険課
健康医療部 成人保健課
健康医療部 健康まちづくり室

大阪大学大学院 医学系研究科保健学専攻 総合ヘルスプロモーション科学講座

1 KDBデータ分析の目的

KDBシステム（国保データベースシステム）が保有する健診・医療・介護情報を突合し、地域の健康課題を抽出することを目的としてデータ分析を行いました。

2 分析にあたって

分析に当たってはKDBシステムが保有するデータのみでなく、第9期吹田健やか年輪プラン（吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）に係る高齢者等の生活と健康に関する調査報告書等も参考にしています。

3 KDBが保有するデータ

吹田市国民健康保険 レセプトデータ
吹田市国保健診 健診データ
後期高齢者医療保険 レセプトデータ
後期高齢者医療健康診査 健診データ

4 分析結果の公開について

今後はこの分析結果を保健事業や介護予防事業での教室・講演会、地域ケア会議等、様々な機会をとらえて活用し、市民や関係者の皆様とともに健康寿命の延伸に向けての活発な対話を行っていきたいと考えています。

また、高齢者フレイル等予防推進事業では、KDBデータを活用し、事業の企画・調整や評価に役立てていきます。

5 参考資料

- ・ 第7期 吹田健やか年輪プラン（吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）
- ・ 第8期 吹田健やか年輪プラン（吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）
- ・ 第9期 吹田健やか年輪プラン（吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）にかかると高齢者等の生活と健康に関する調査
- ・ 第9期 吹田健やか年輪プラン（吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）

6 この資料に関する問合せ先

福祉部高齢福祉室 支援グループ

電話 06-6170-5860

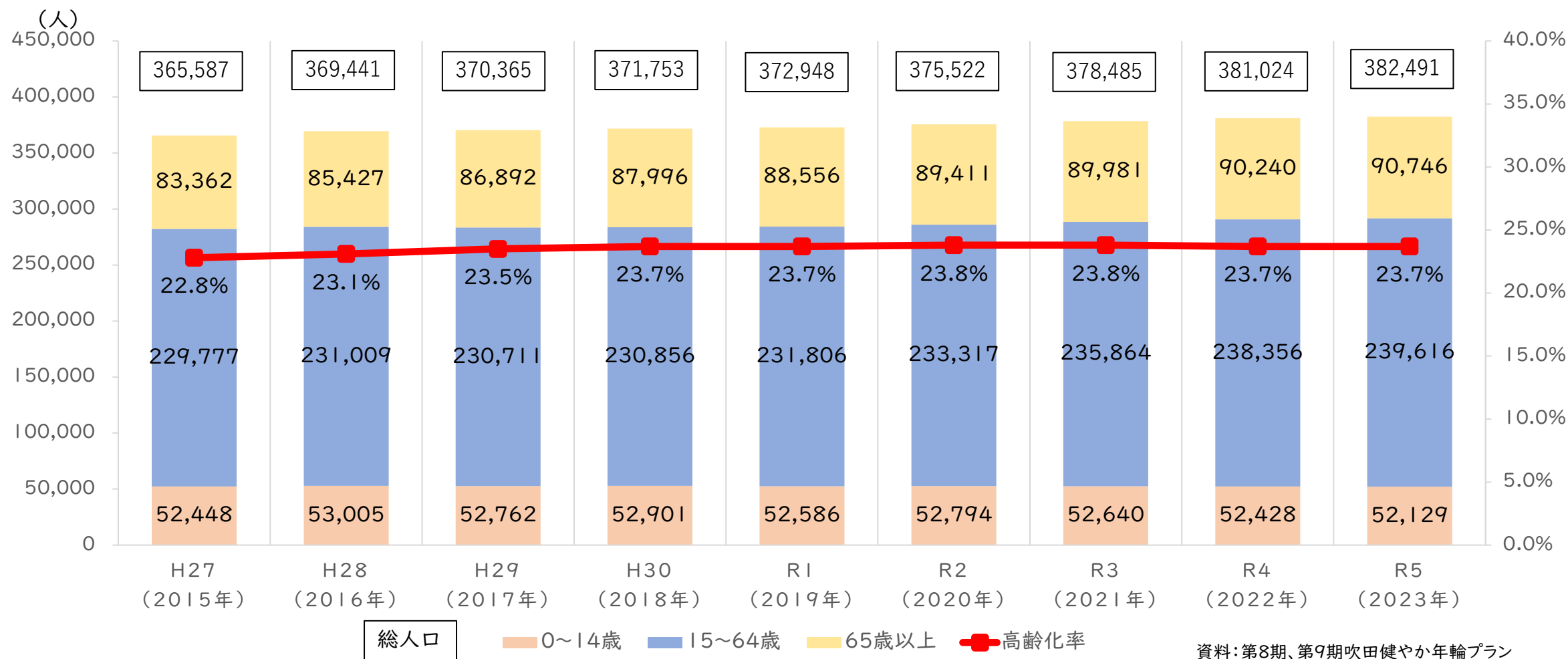
FAX 06-6368-7348

メール kousien@city.suita.osaka.jp

目 次

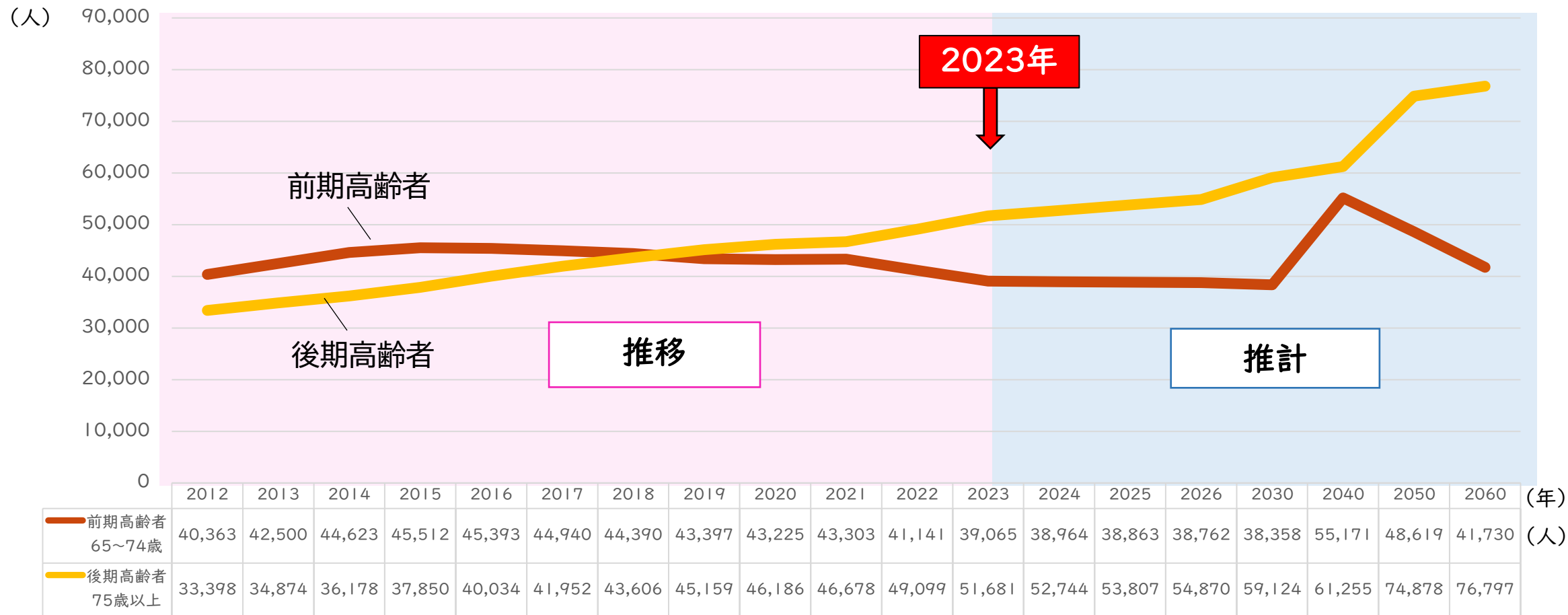
- | | | | |
|-----|--|-----|---|
| 1 | 年齢別人口及び高齢化率の推移 | 1 6 | 後期高齢者医療健康診査の結果
口腔機能 男女別年齢別質問票項目該当者の割合（令和4年度） |
| 2 | 前期高齢者及び後期高齢者人口の推移と推計 | 1 7 | 後期高齢者医療健康診査の結果
男女別低栄養傾向の者の割合（令和4年度） |
| 3 | 圏域別前期高齢者・後期高齢者の割合 | 1 8 | 後期高齢者医療健康診査の結果
男女別年齢別BMI21.5未満該当者の割合（令和4年度） |
| 4 | 圏域別前期高齢者及び後期高齢者人口の推移と推計 | 1 9 | 健診受診率と介護予防事業参加率 |
| 5 | 年齢別高血圧・糖尿病の病名がある者の割合（令和4年度） | 2 0 | フレイルの認知度と介護予防事業参加率 |
| 6 | 男女別年齢別高血圧・糖尿病の病名がある者の割合（令和4年度） | 2 1 | 健診受診率とフレイルの認知度 |
| 7 | 男女別年齢別認知症疾病別レセプト件数（外来・入院合計）（令和4年度） | 2 2 | JR以南地域の状況 |
| 8 | 男女別年齢別難聴にかかるレセプト件数（外来）（令和4年度） | 2 3 | 片山・岸部地域の状況 |
| 9 | 男女別年齢別筋骨格系疾患レセプト件数（外来・入院合計）（令和4年度） | 2 4 | 豊津・江坂・南吹田地域の状況 |
| 1 0 | 男女別年齢別骨粗しょう症レセプト件数（外来・入院）（令和4年度） | 2 5 | 千里山・佐井寺地域の状況 |
| 1 1 | 男女別年齢別骨折レセプト件数（外来・入院）（令和4年度） | 2 6 | 山田・千里丘地域の状況 |
| 1 2 | 男女別年齢別健康診査受診率（令和4年度） | 2 7 | 千里ニュータウン・万博・阪大地域の状況 |
| 1 3 | 年齢別健康診査受診率の年度別推移 | 2 8 | 用語説明 |
| 1 4 | 圏域別年齢別健康診査受診率（令和4年度） | | |
| 1 5 | 後期高齢者医療健康診査の結果
口腔機能 男女別質問票項目該当者の割合（令和4年度） | | |

1 年齢別人口及び高齢化率の推移



全国的に人口が減少に転じている中、本市の総人口は年々増加してします。0～14歳の年少人口は横ばい、15～64歳の生産年齢人口は微増している中、65歳以上人口は増加しています。高齢化率は横ばいの状況です。

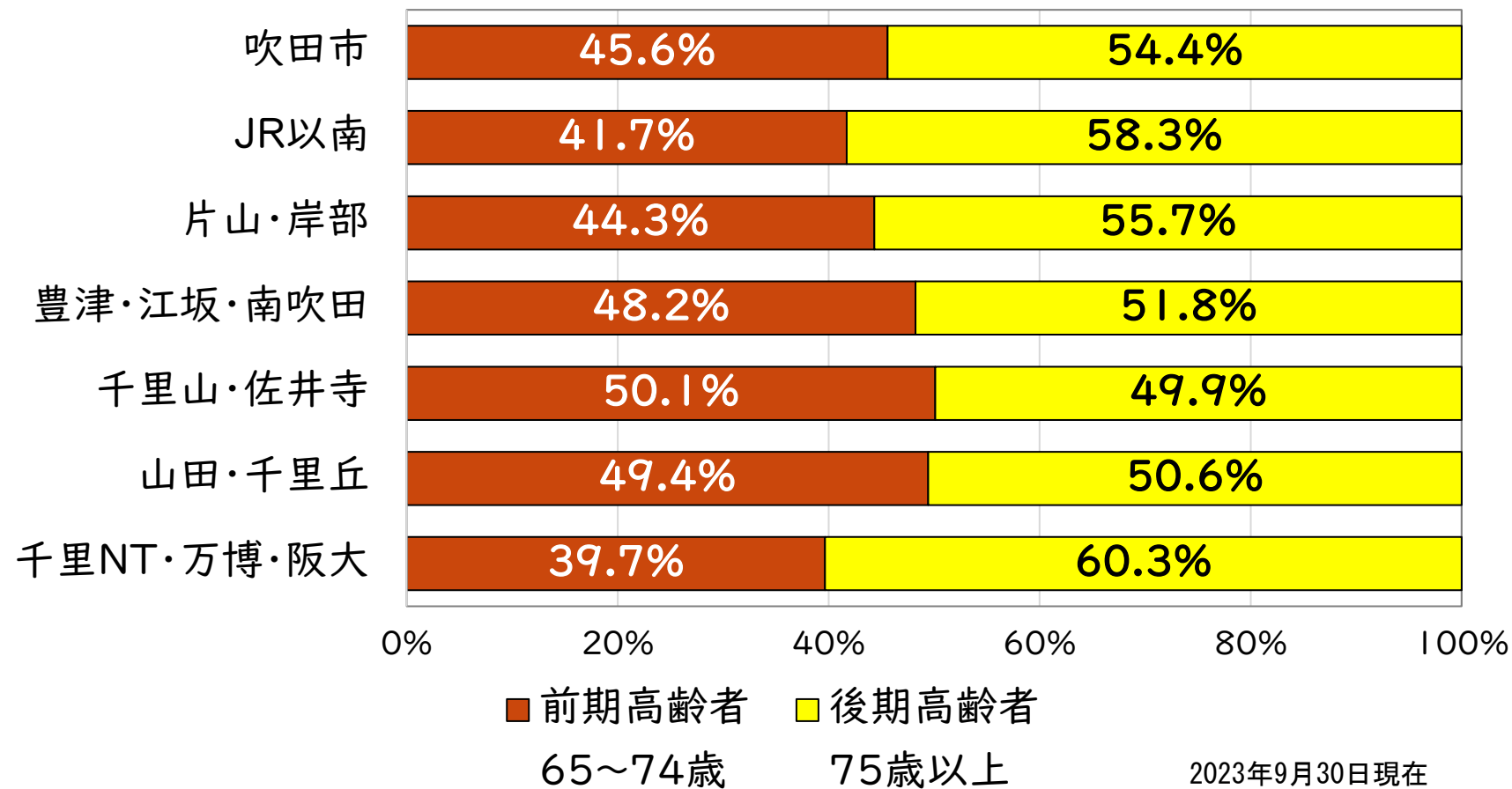
2 前期高齢者及び後期高齢者人口の推移と推計



資料：第7期、第8期、第9期吹田健やか年輪プラン

前期高齢者は緩やかに減少し、団塊ジュニア世代が65歳以上になる2040年頃に急増し、以降再び減少に転じます。後期高齢者は緩やかに増加していき、2050年頃に急増し、以降も増加することが予想されます。

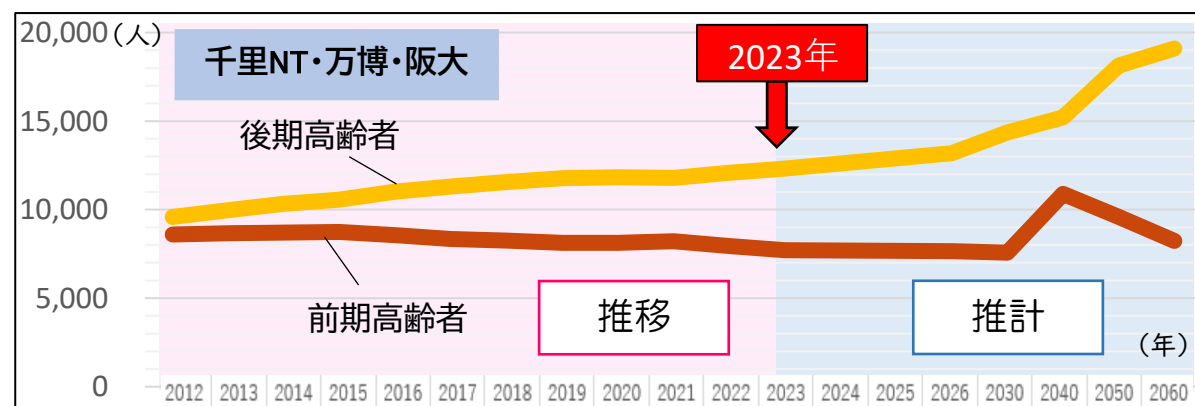
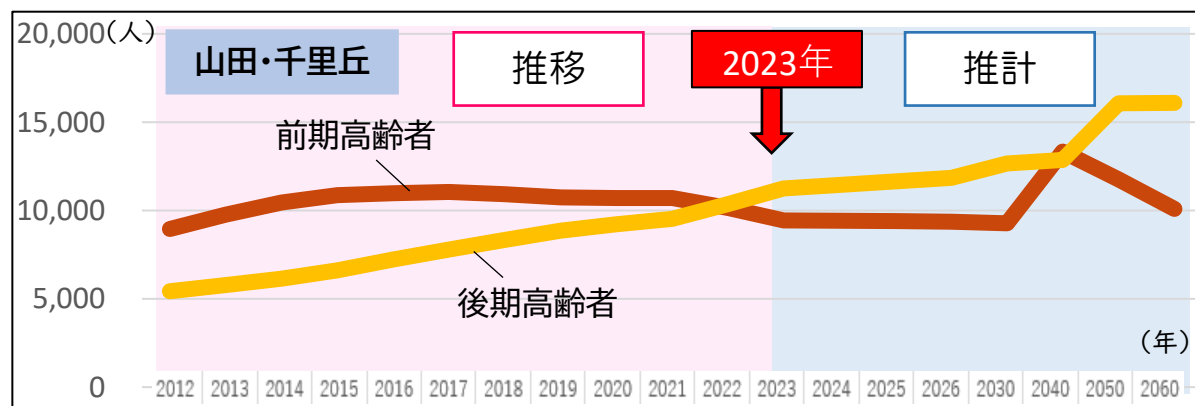
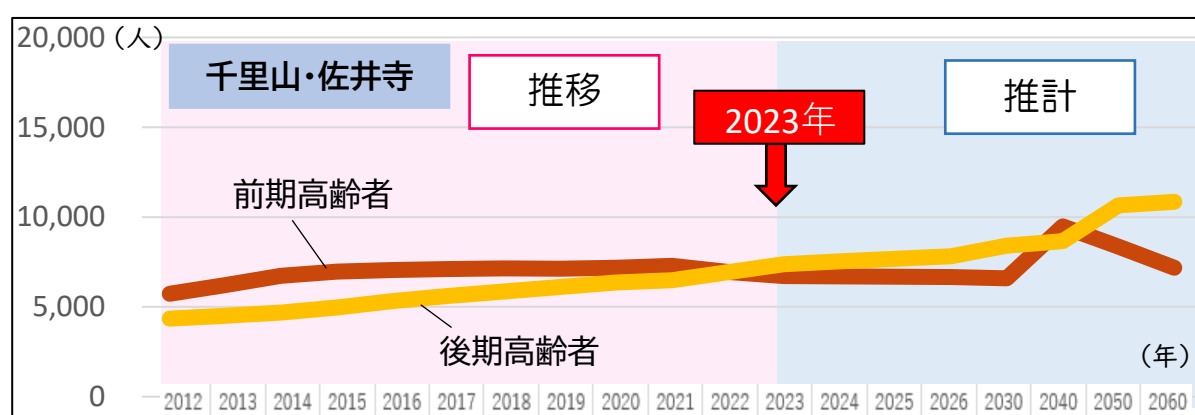
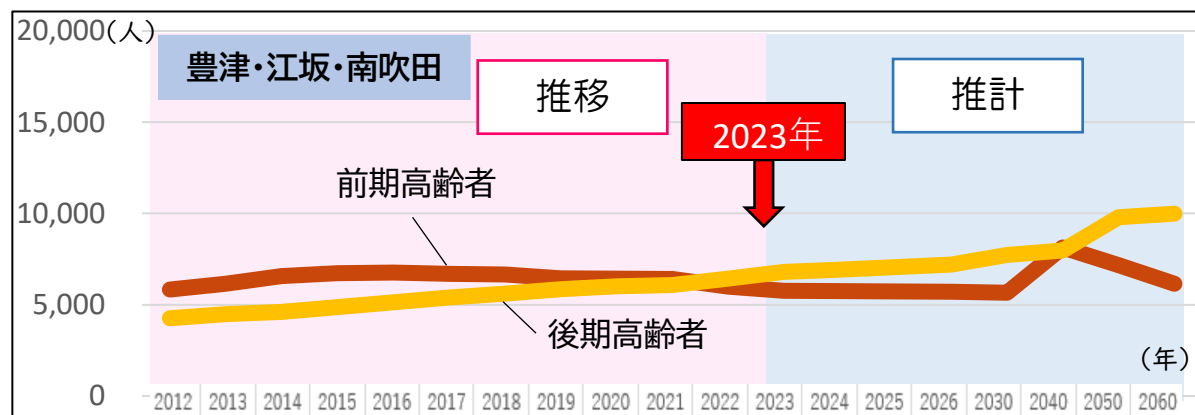
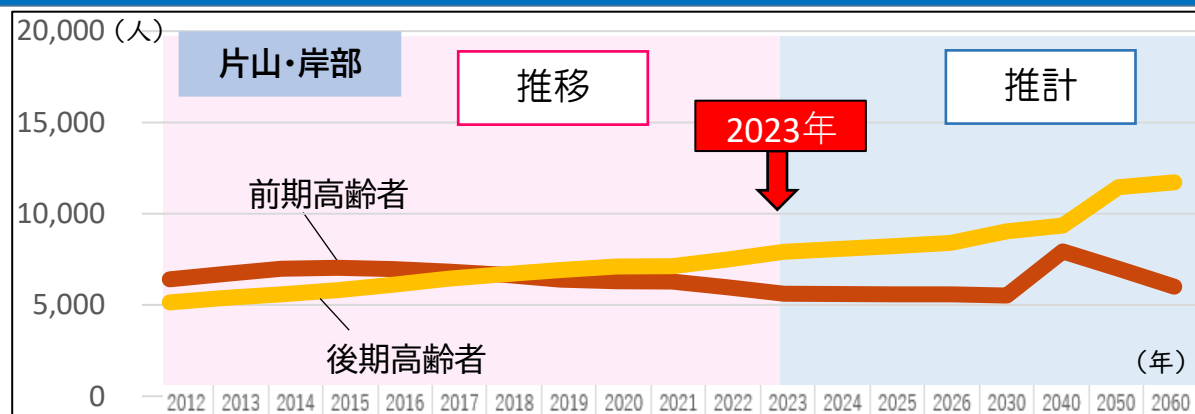
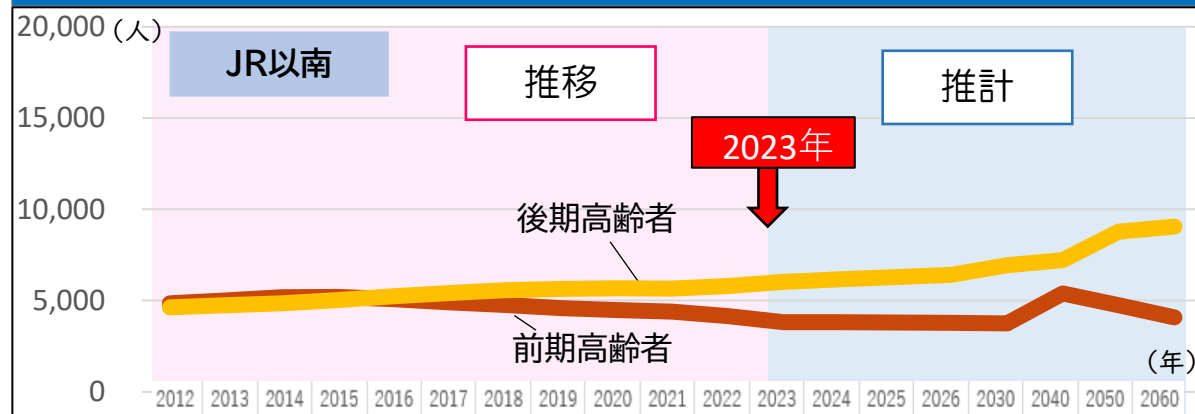
3 圏域別前期高齢者・後期高齢者の割合



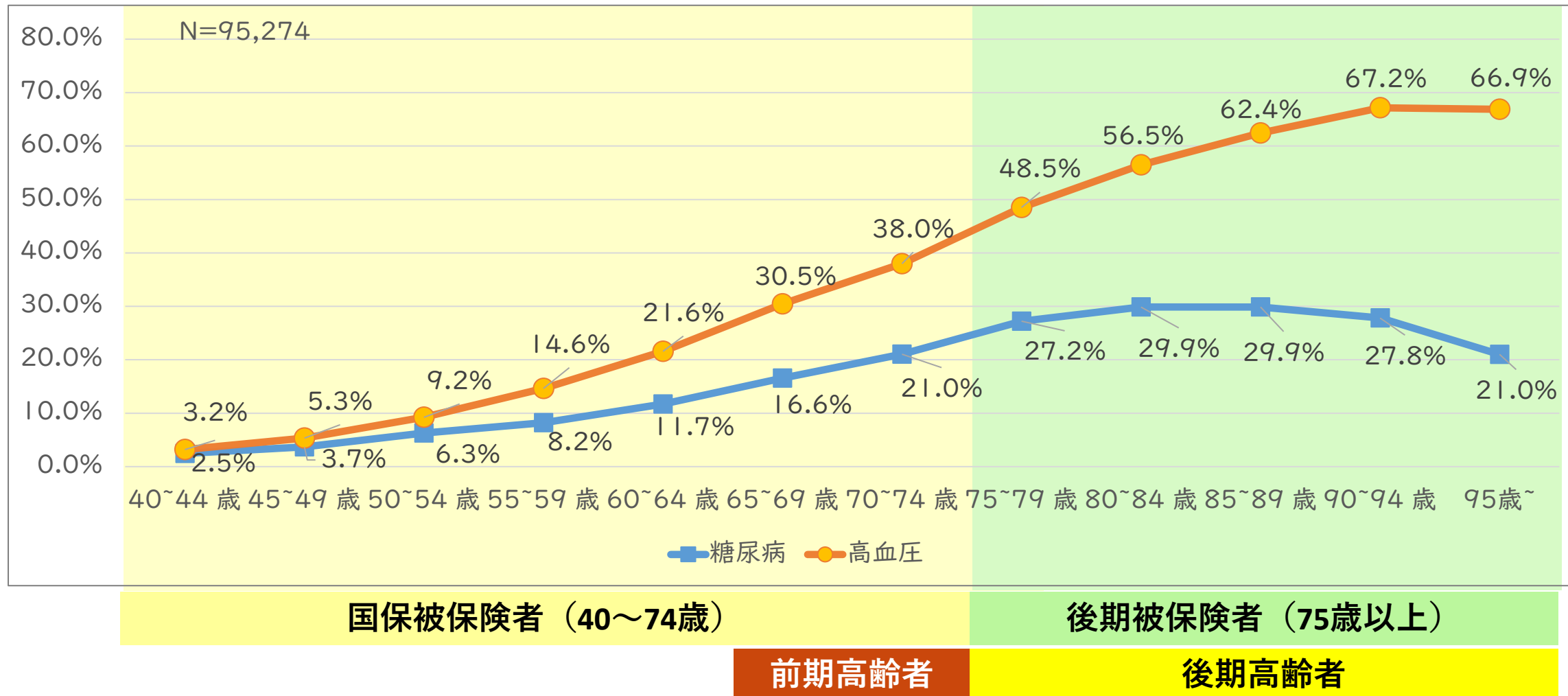
資料：第9期吹田健やか年輪プラン

圏域によって、前期高齢者、後期高齢者の構成比に差があります。
千里ニュータウン・万博・阪大で後期高齢者の割合が高く、千里山・佐井寺、山田・千里丘、
豊津・江坂・南吹田は後期高齢者の割合が低い状況です。

4 圏域別 前期高齢者及び後期高齢者人口の推移と推計



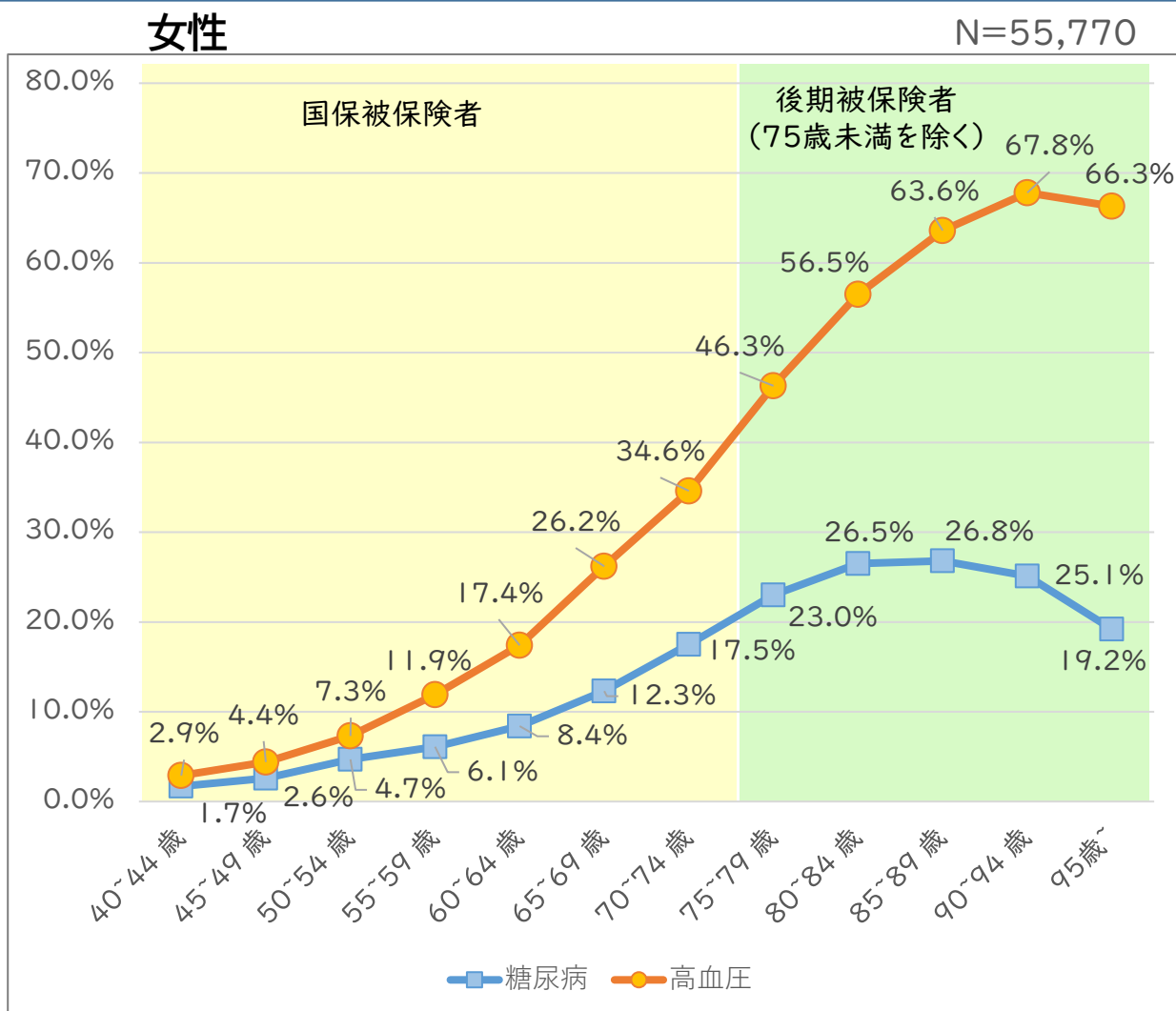
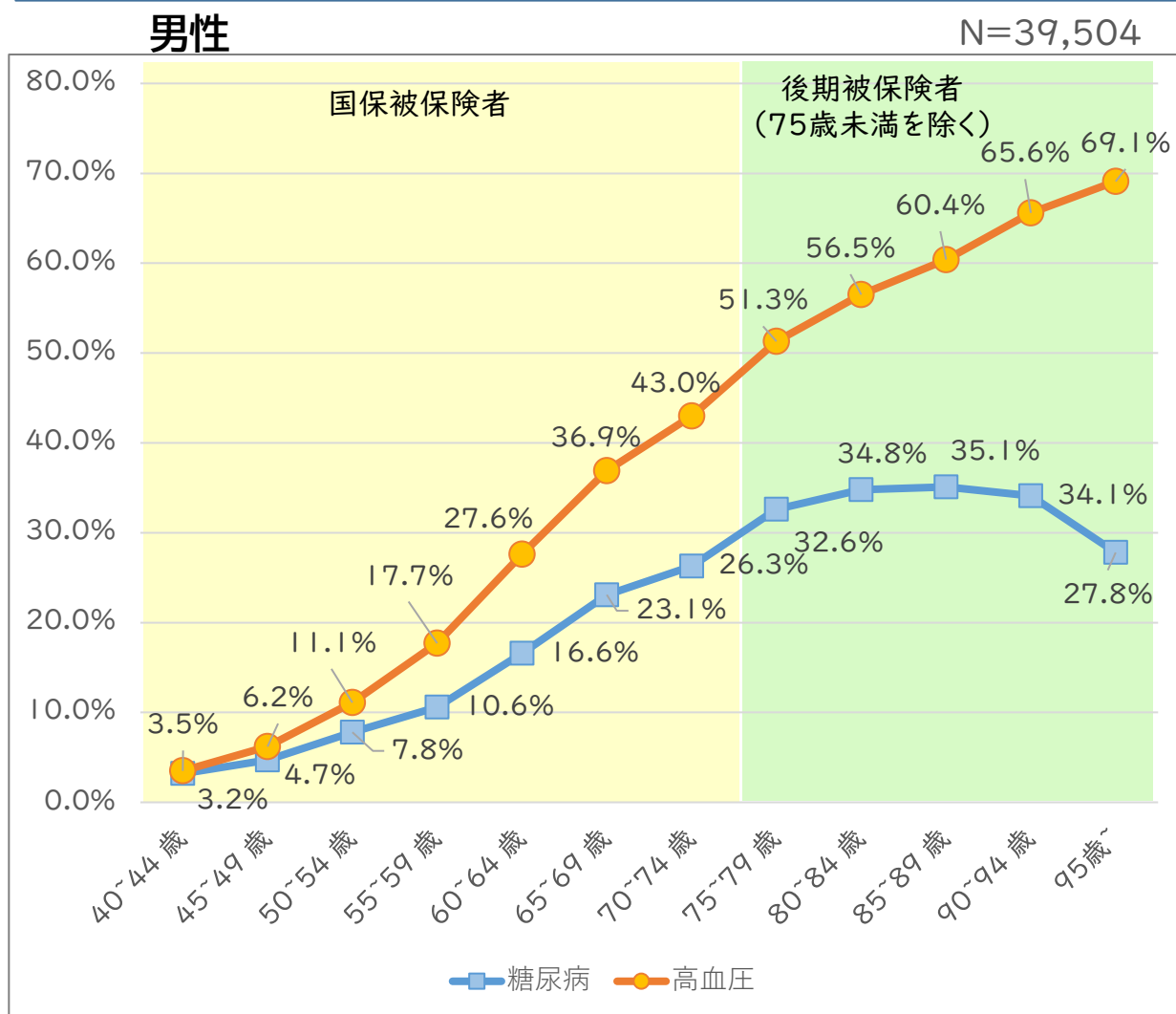
5 年齢別高血圧・糖尿病の病名がある者の割合（令和4年度）



出典：KDBが保有するレセプトデータから作成

糖尿病の割合は加齢に伴って増加し、80歳代で約3割とピークとなり、90歳以降は減少します。
高血圧の割合は加齢に伴って増加し、85歳以上で6割以上となります。

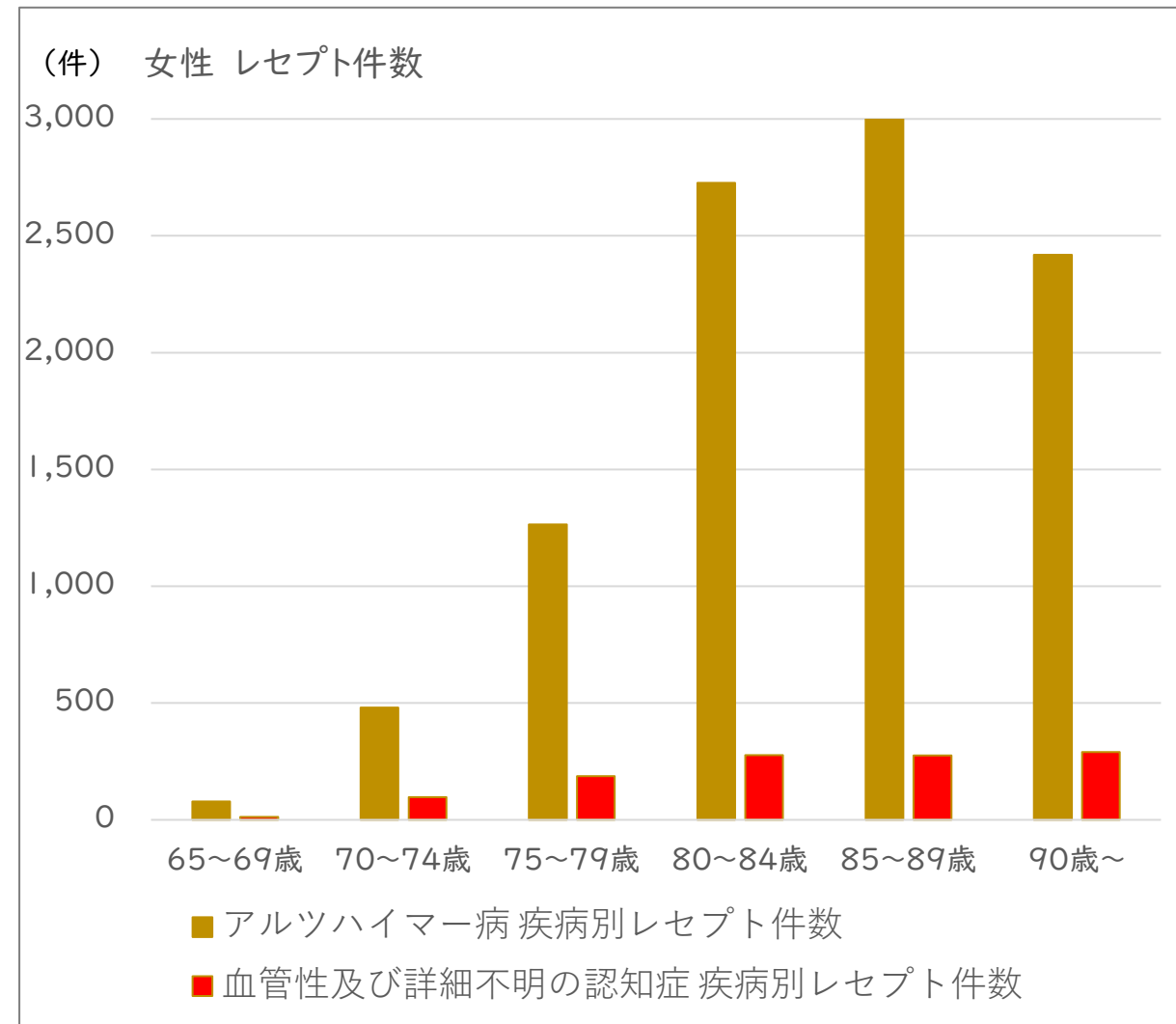
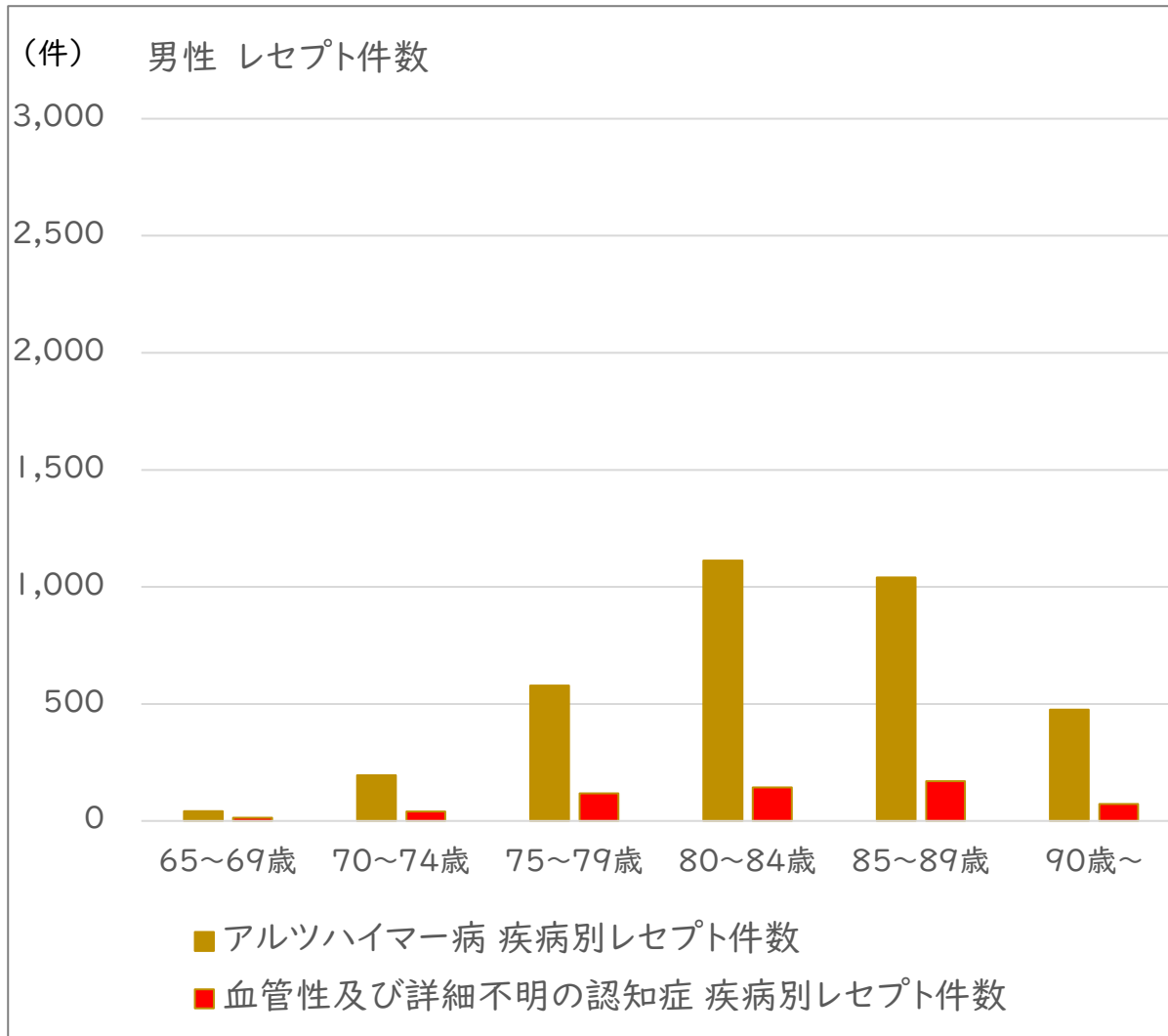
6 男女別年齢別高血圧・糖尿病の病名がある者の割合（令和4年度）



出典：KDBが保有するレセプトデータから作成

高血圧、糖尿病とも、70歳代までは女性に比べて男性の割合が高いです。糖尿病については、男女とも加齢に伴って増加し85~89歳をピークに減少します。高血圧については、男女とも90~94歳まで加齢に伴って増加し、6割以上となります。男性は95歳以上も増加しますが、女性は減少します。

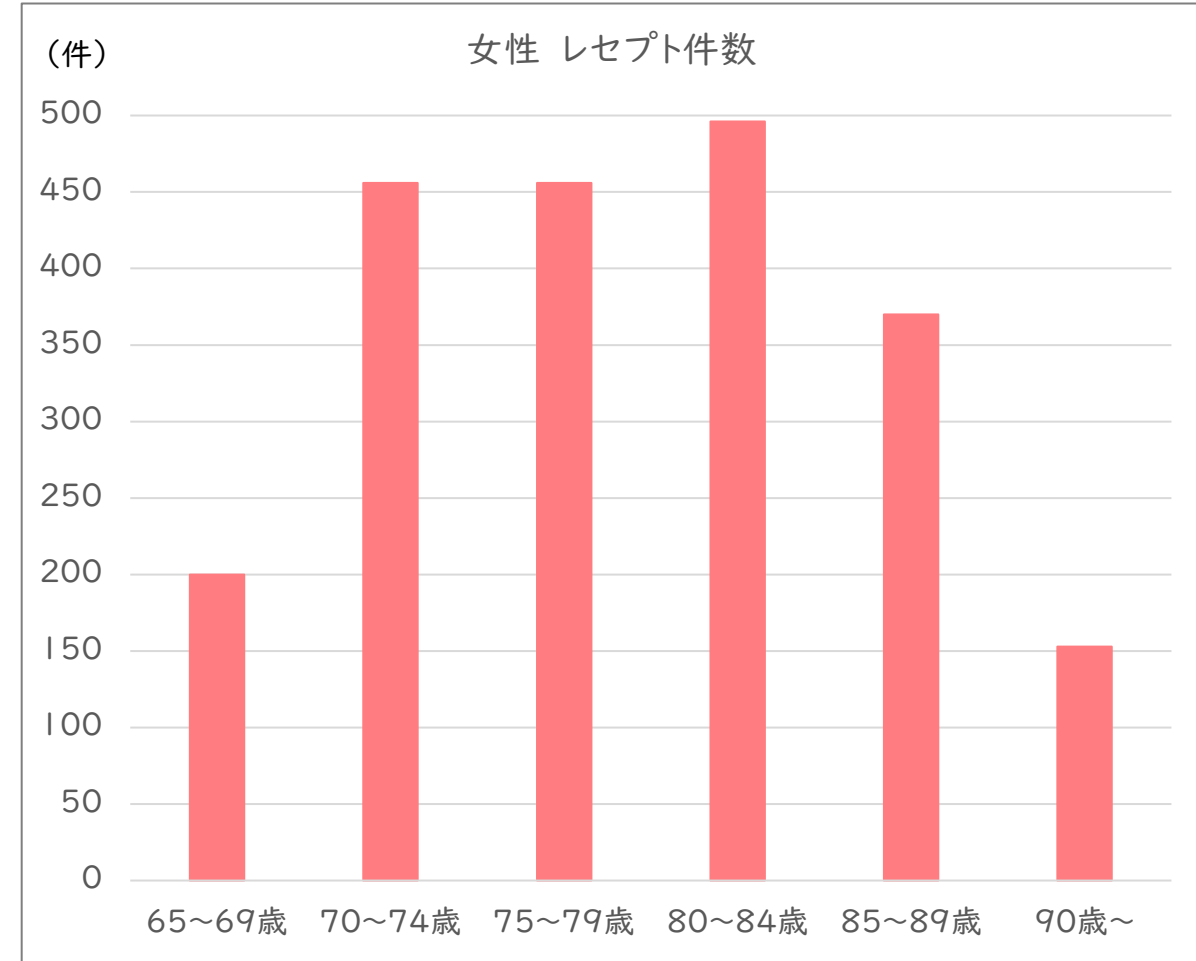
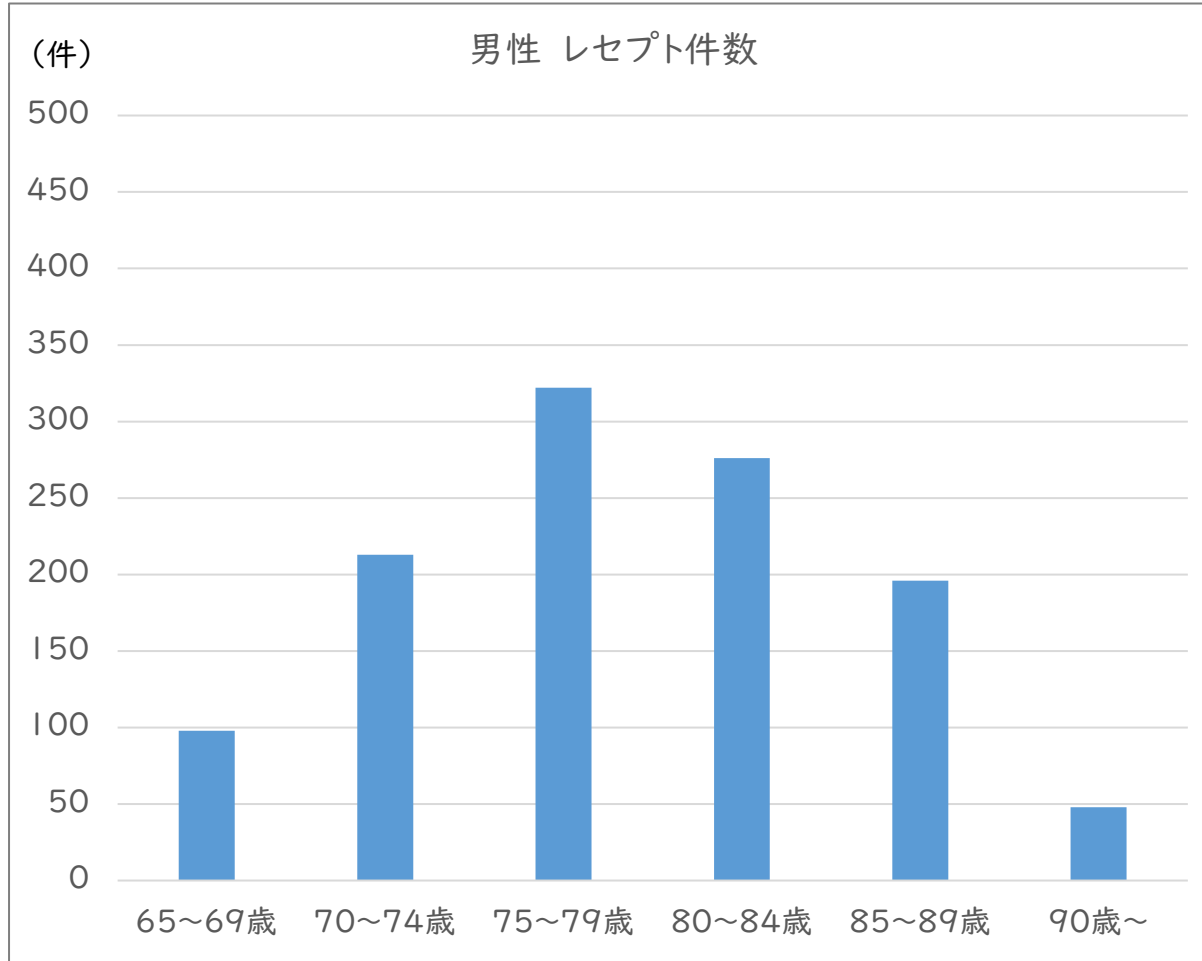
7 男女別年齢別認知症疾病別レセプト件数(外来・入院合計)(令和4年度)



出典:KDBが保有するレセプトデータから作成

アルツハイマー病については、70歳代後半から80歳代前半で急増しています。
男性に比べ、女性の方が多い傾向にあります。

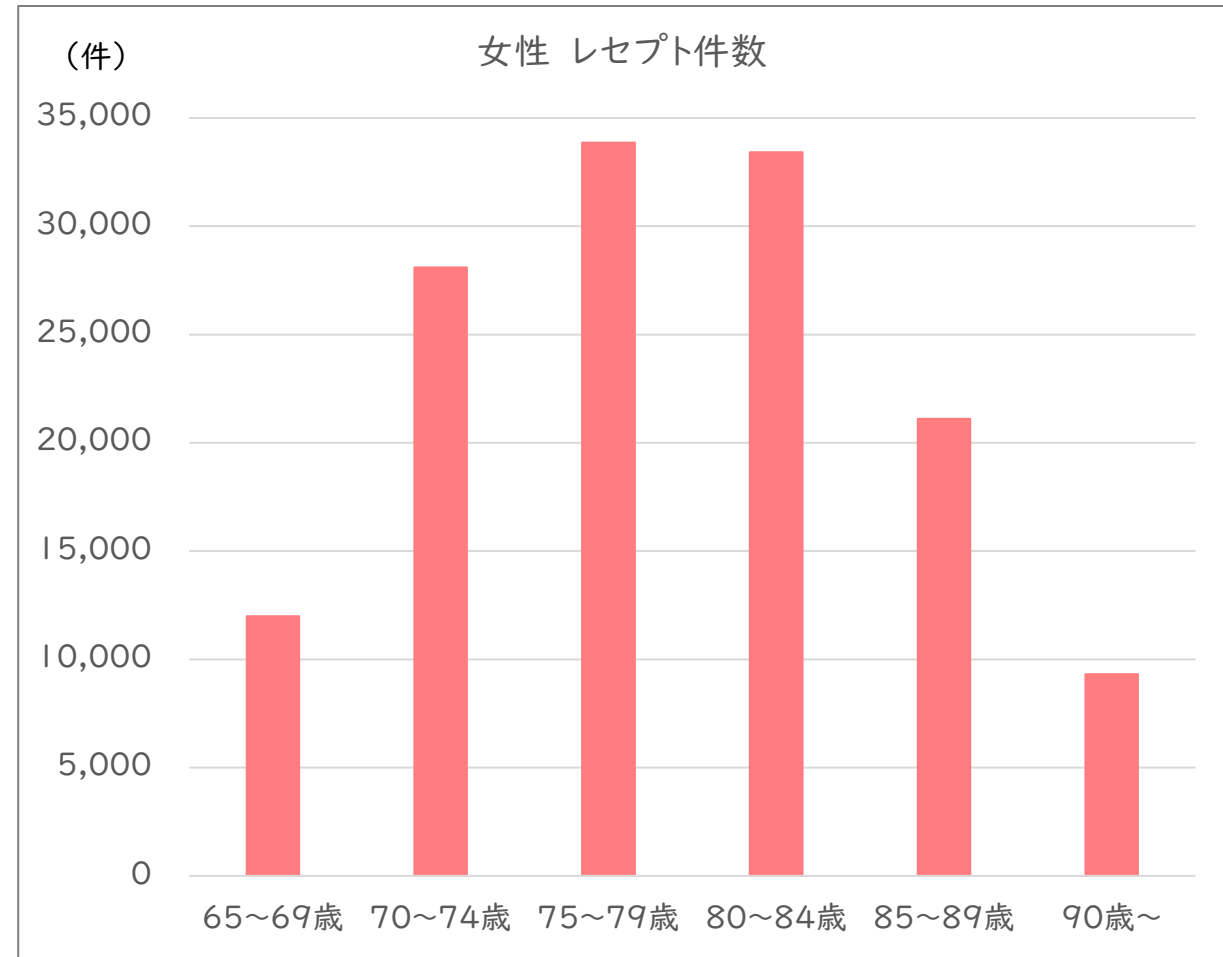
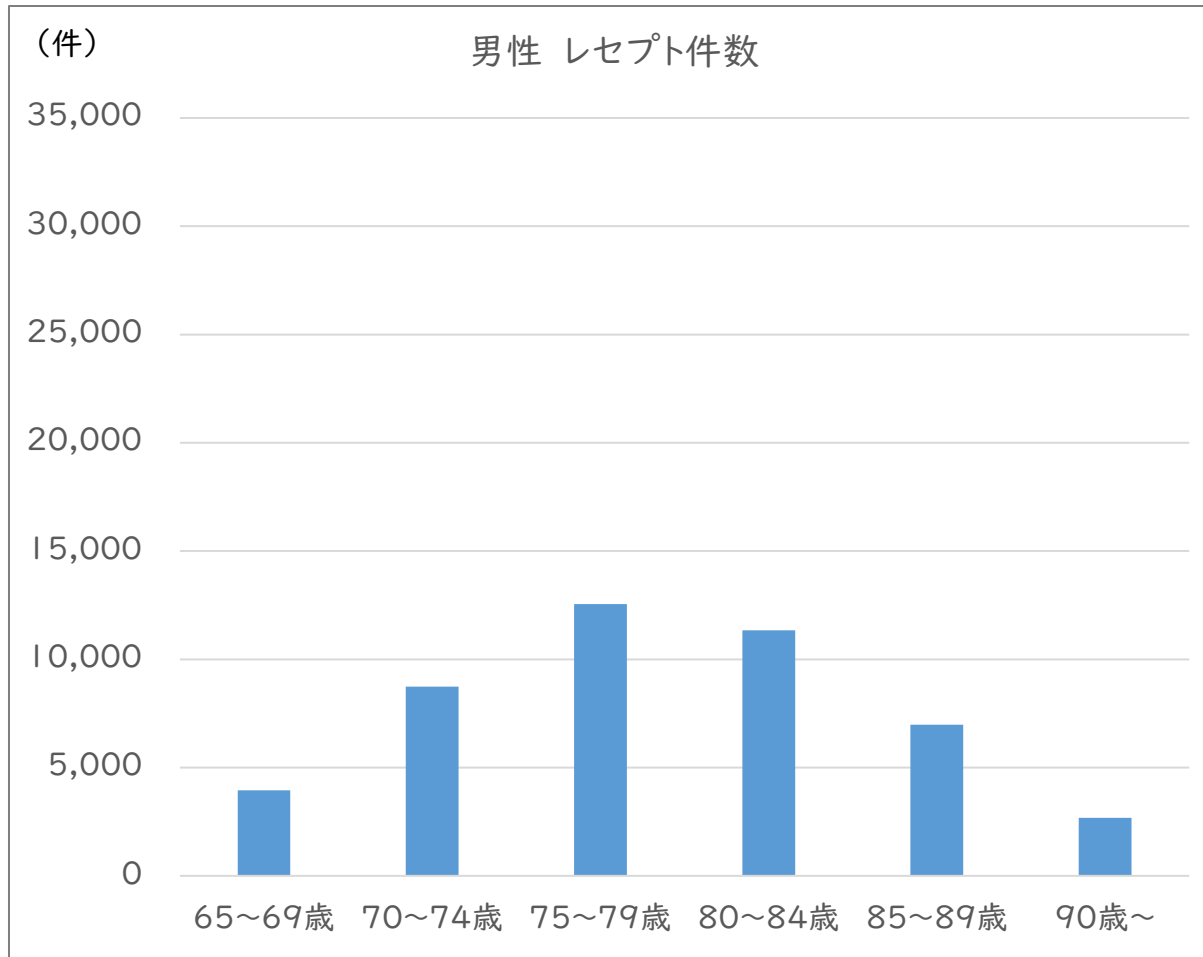
8 男女別年齢別難聴にかかるレセプト件数（外来）（令和4年度）



出典：KDBが保有するレセプトデータから作成

男性については70歳代で増え、女性は70～74歳で急増しています。日常で女性の方が難聴への気づきが早いのか、レセプト件数が多いです。

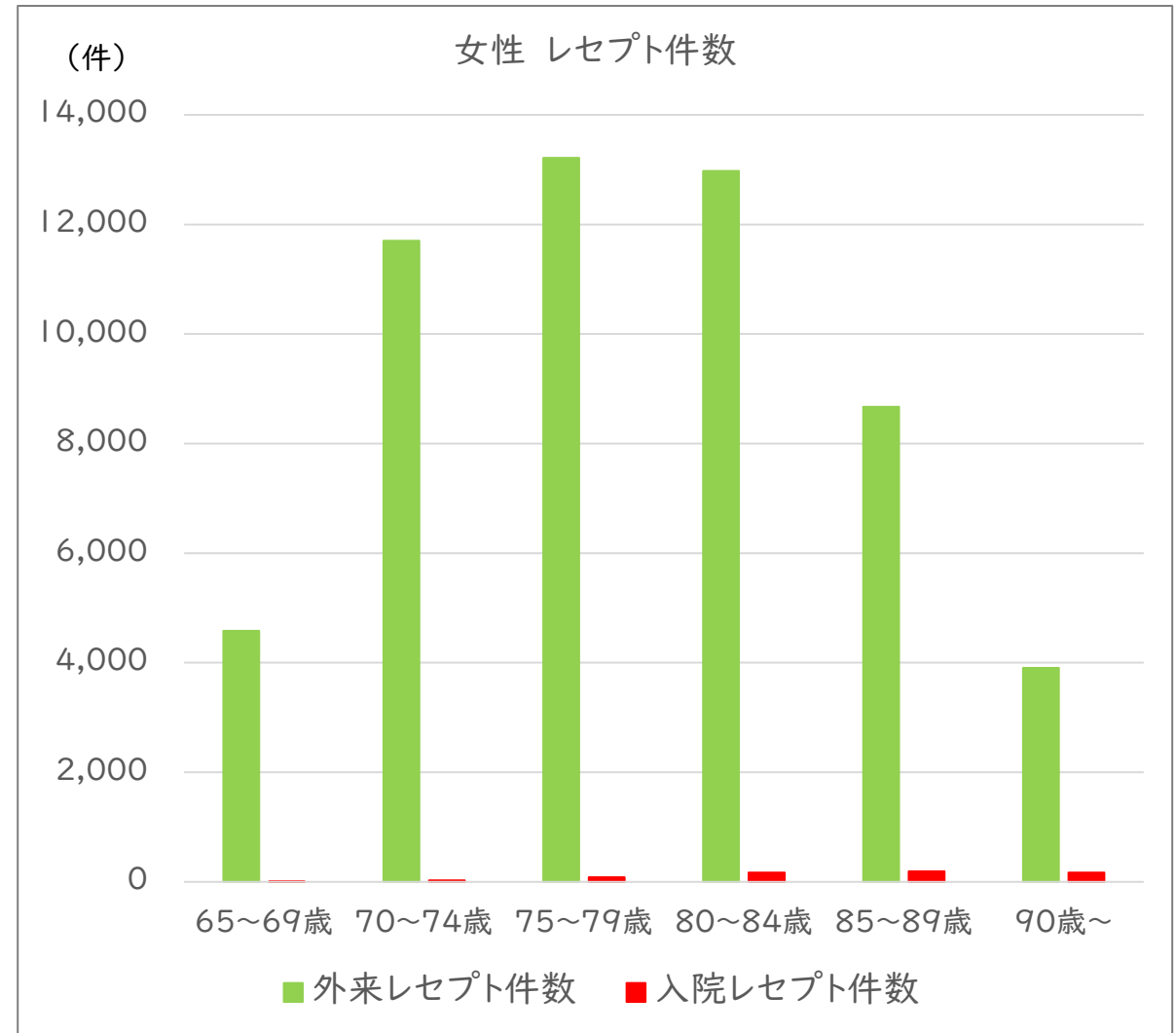
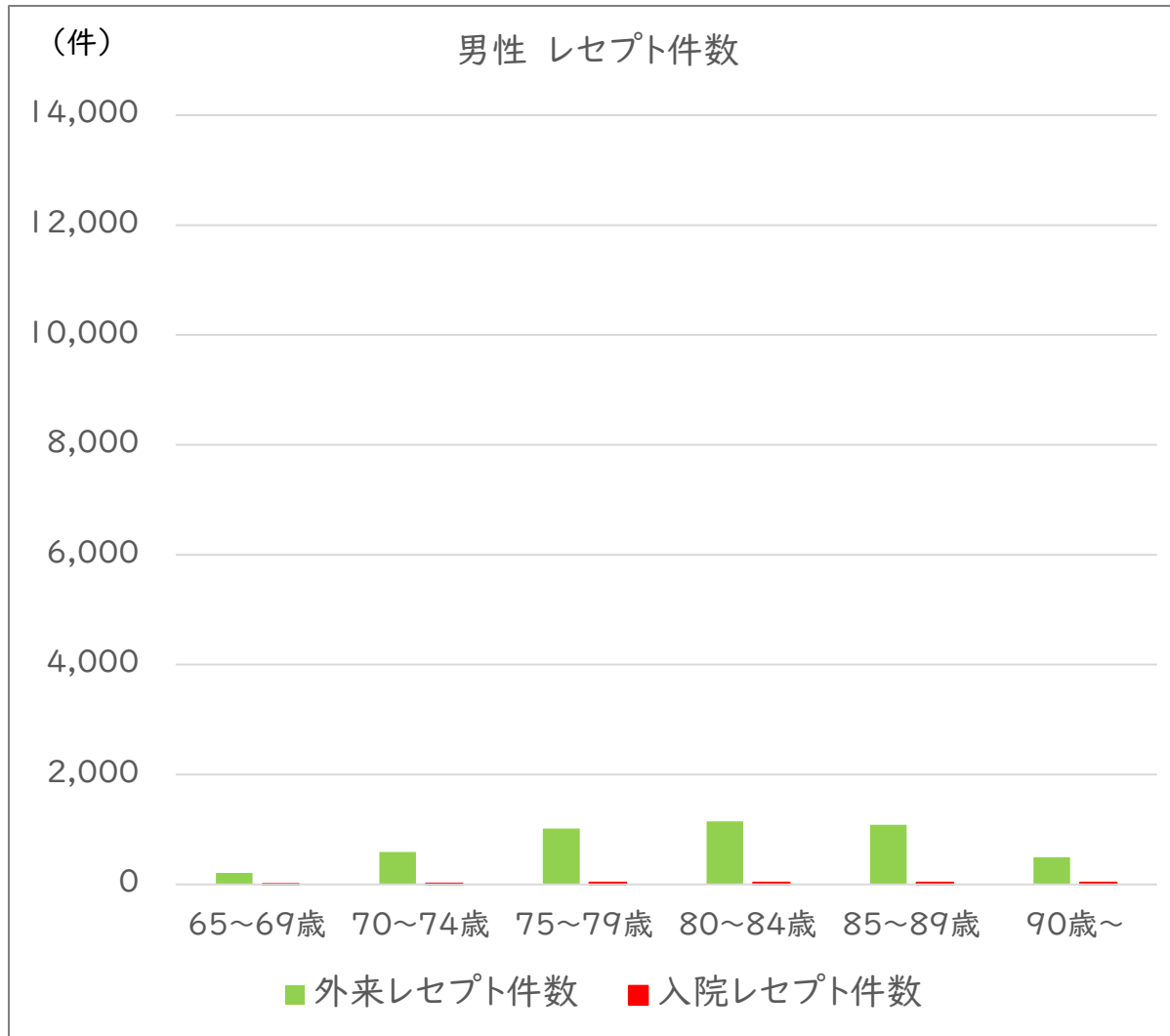
9 男女別年齢別筋骨格系疾患レセプト件数(外来・入院合計)(令和4年度)



出典:KDBが保有するレセプトデータから作成

男女ともに70歳代で増えています。男女別では女性の方が多いです。

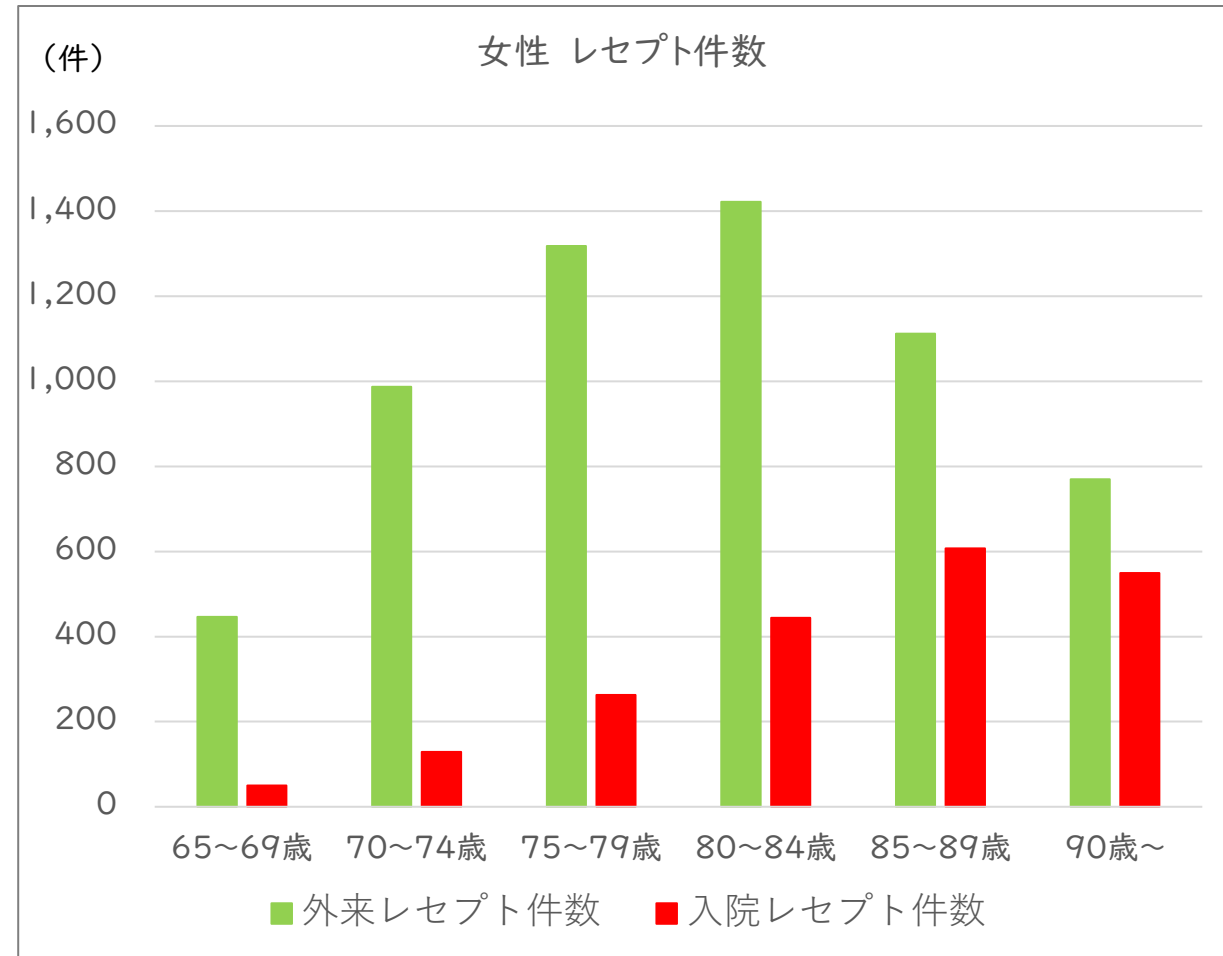
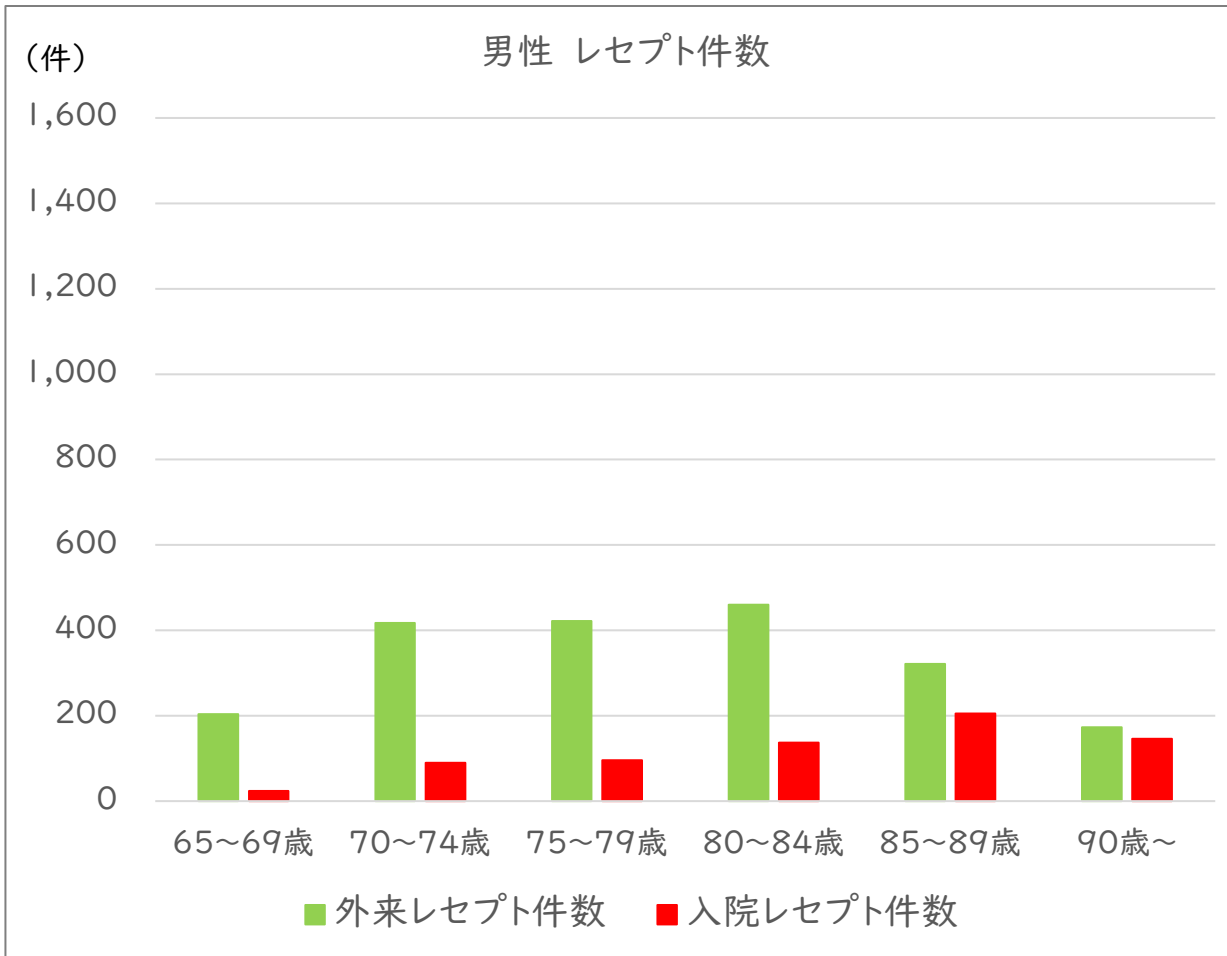
10 男女別年齢別骨粗しょう症レセプト件数(外来・入院)(令和4年度)



出典:KDBが保有するレセプトデータから作成

外来・入院ともに女性の方がレセプト件数が多く、外来では75~79歳がレセプト件数が多いです。

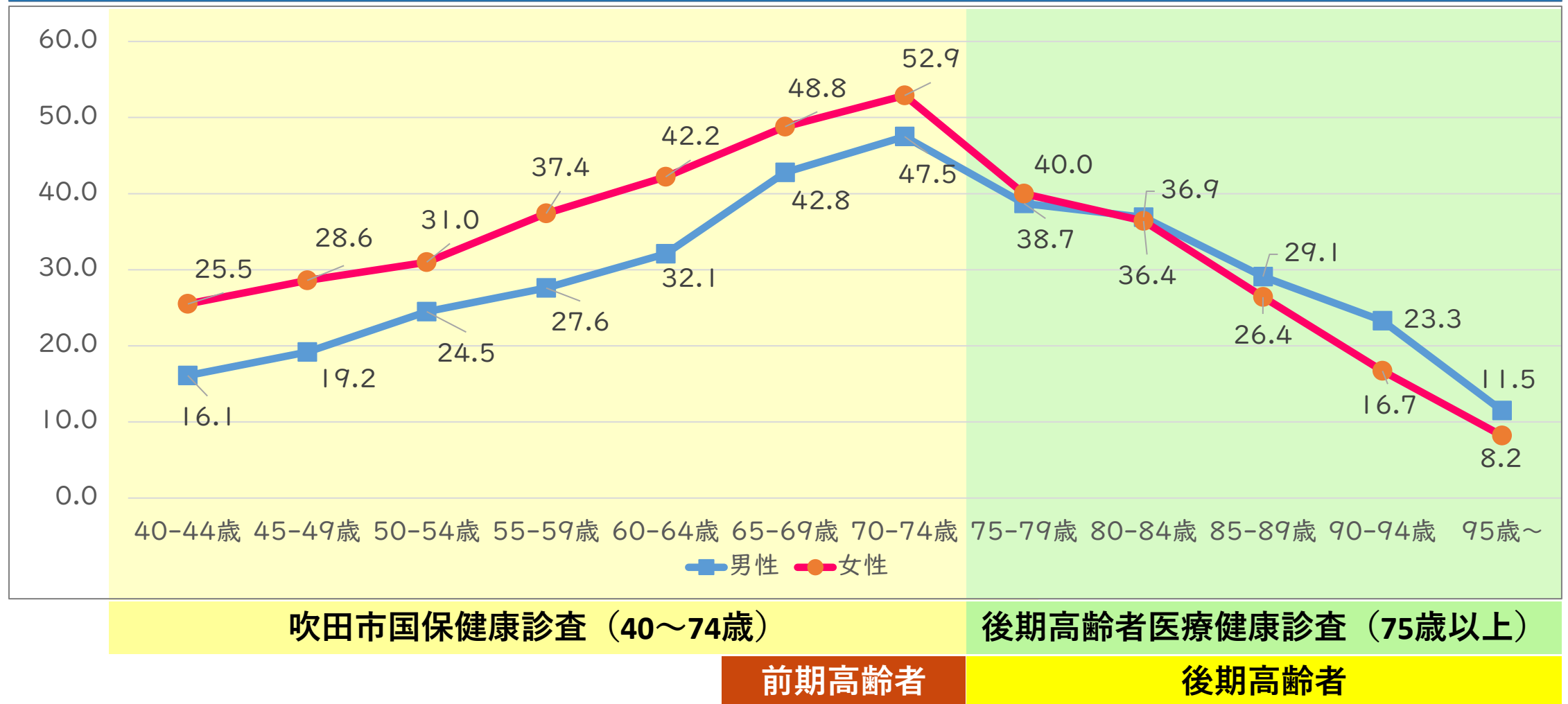
11 男女別年齢別骨折レセプト件数(外来・入院)(令和4年度)



出典:KDBが保有するレセプトデータから作成

女性の外来のレセプト件数は、70歳前半から増えています。入院は、70~74歳から増加し、ピークは85~89歳です。

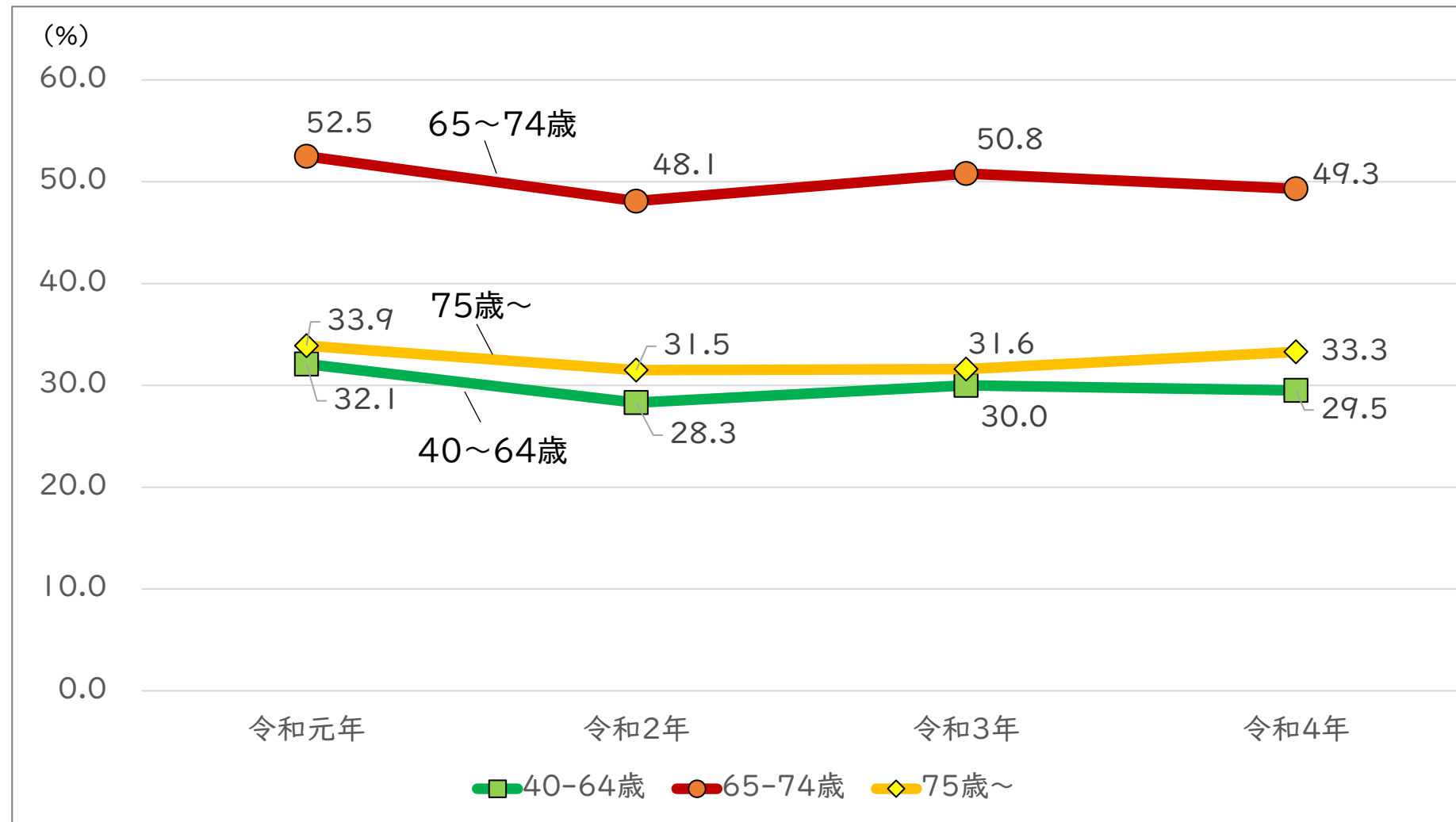
12 男女別年齢別健康診査受診率（令和4年度）



出典：KDBが保有する吹田市国保健康診査、後期高齢者医療健康診査結果から作成

健診受診率は男女ともに75歳以降低下しています。74歳までは女性の方が受診率が高く、その後、85歳を超えると男性の方が高くなります。平均寿命の男女差を踏まえると、90歳以上の男性は、健康意識が高い人が多い可能性が推察されます。

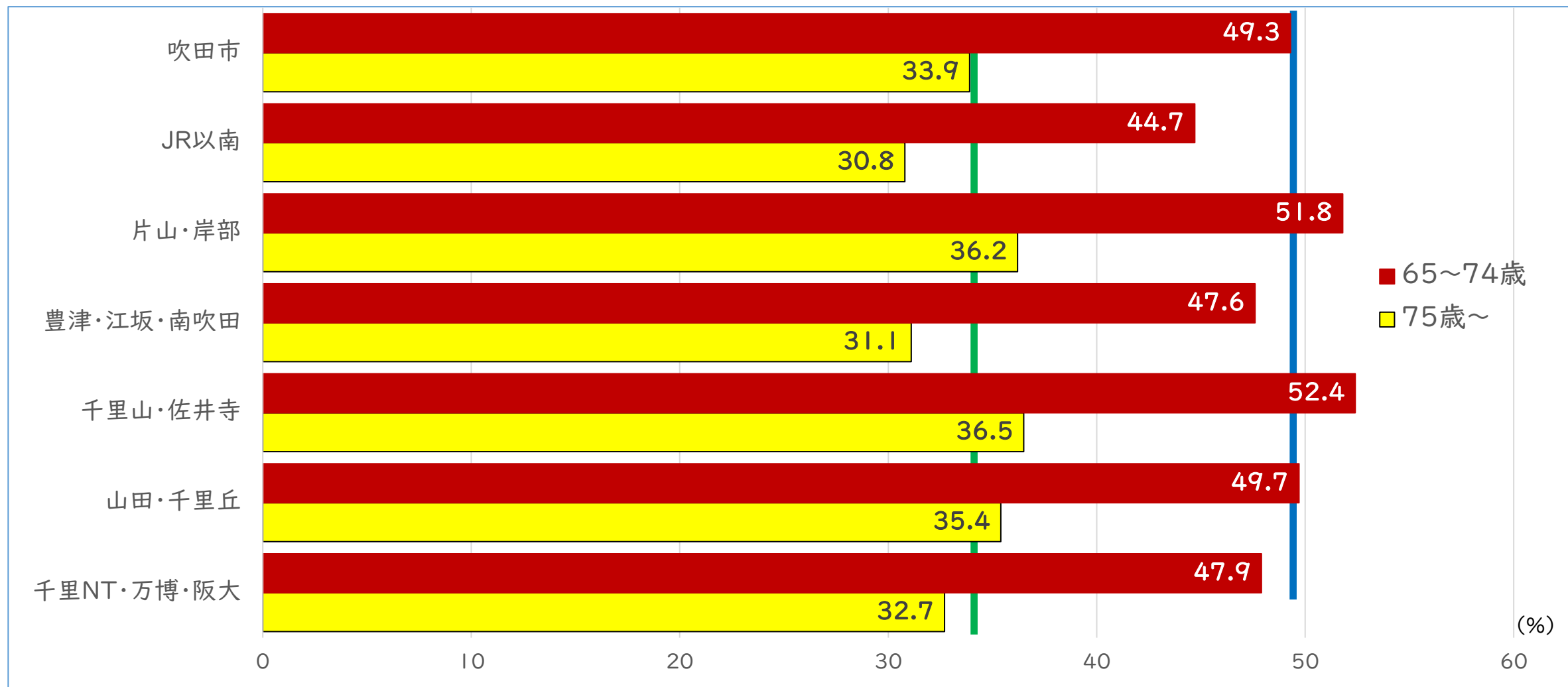
13 年齢別健康診査受診率の年度別推移



出典:KDBが保有する吹田市国保健康診査、後期高齢者医療健康診査結果から作成

年度別推移では令和2年度に低下しており、新型コロナウイルス感染症流行の影響と考えられますが、その後も受診率の回復はしていません。

14 圏域別年齢別健康診査受診率（令和4年度）

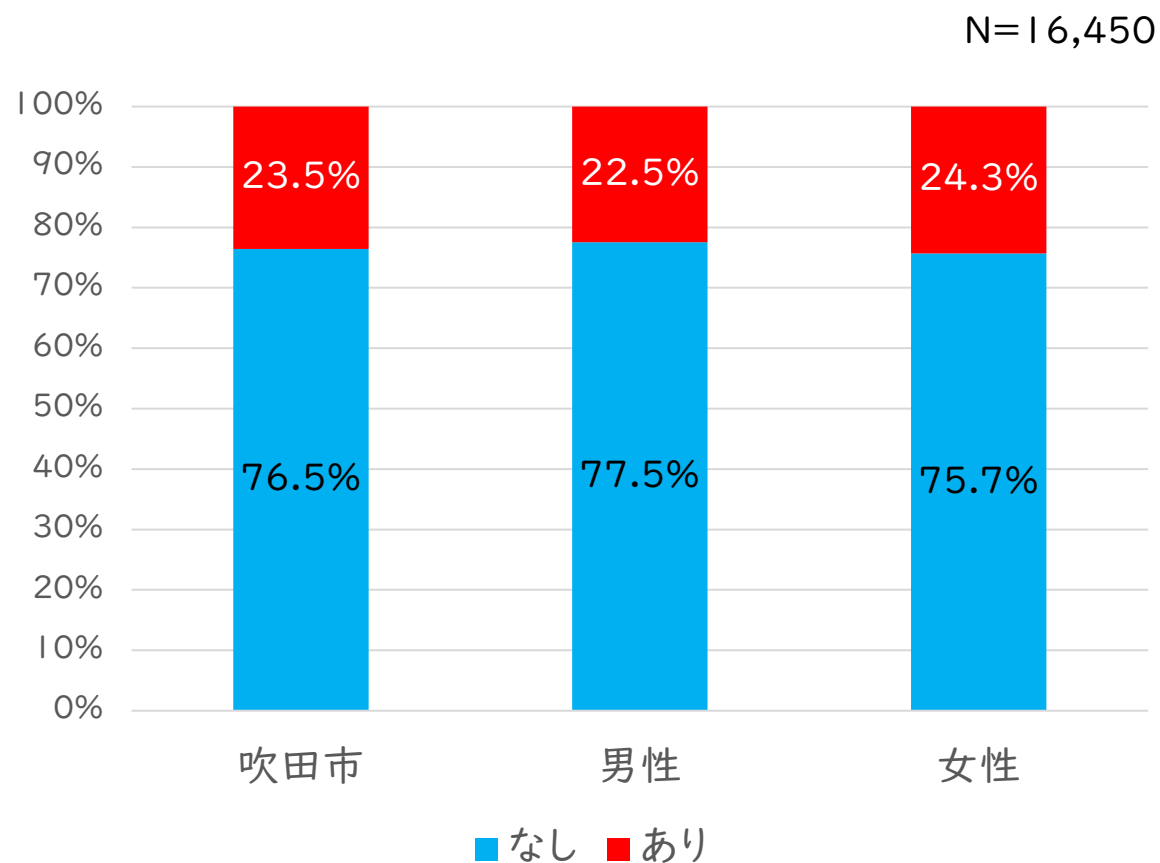


出典:KDBが保有する吹田市国保健康診査、後期高齢者医療健康診査結果から作成

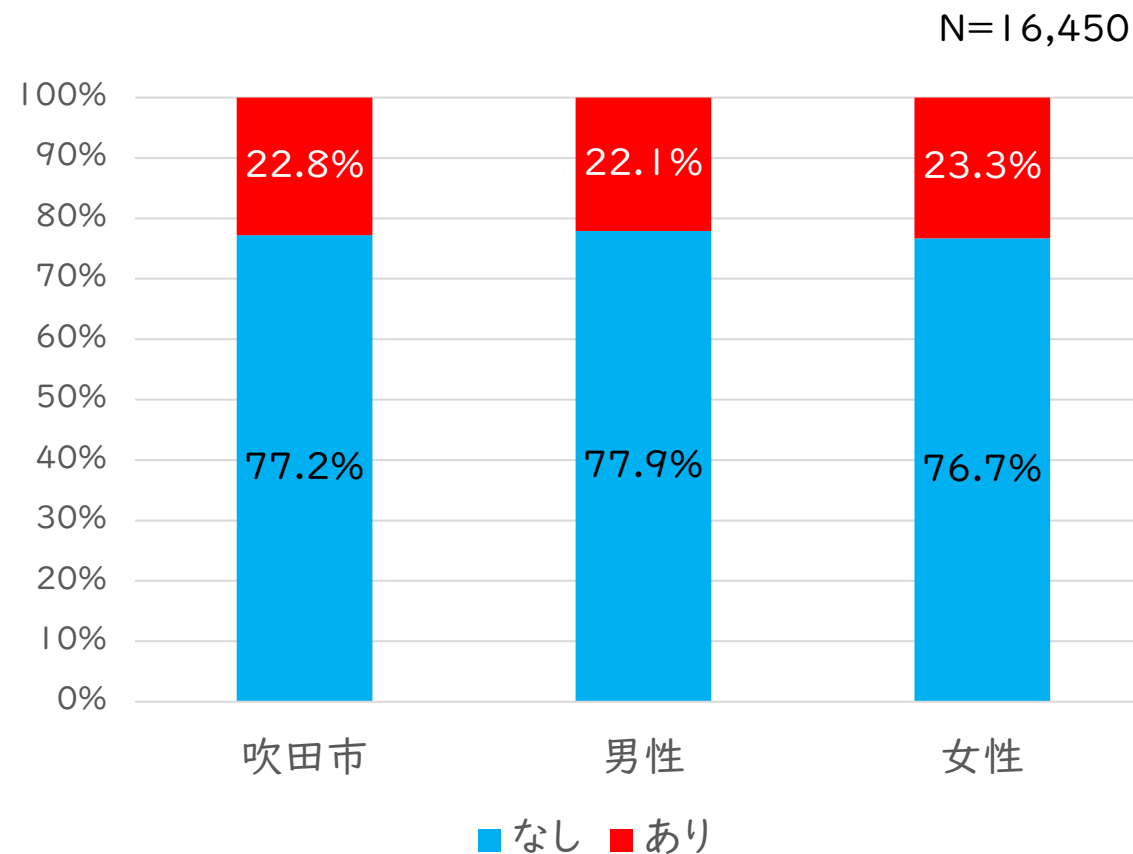
65～74歳と75歳以上のどちらの年代においても千里山・佐井寺圏域が高く、次いで片山・岸部圏域が高いです。JR以南圏域はどちらの年代においても受診率が低いです。

15 後期高齢者医療健康診査の結果 口腔機能 男女別質問票項目該当者の割合（令和4年度）

「半年前に比べて固いものが食べにくい」該当者の割合



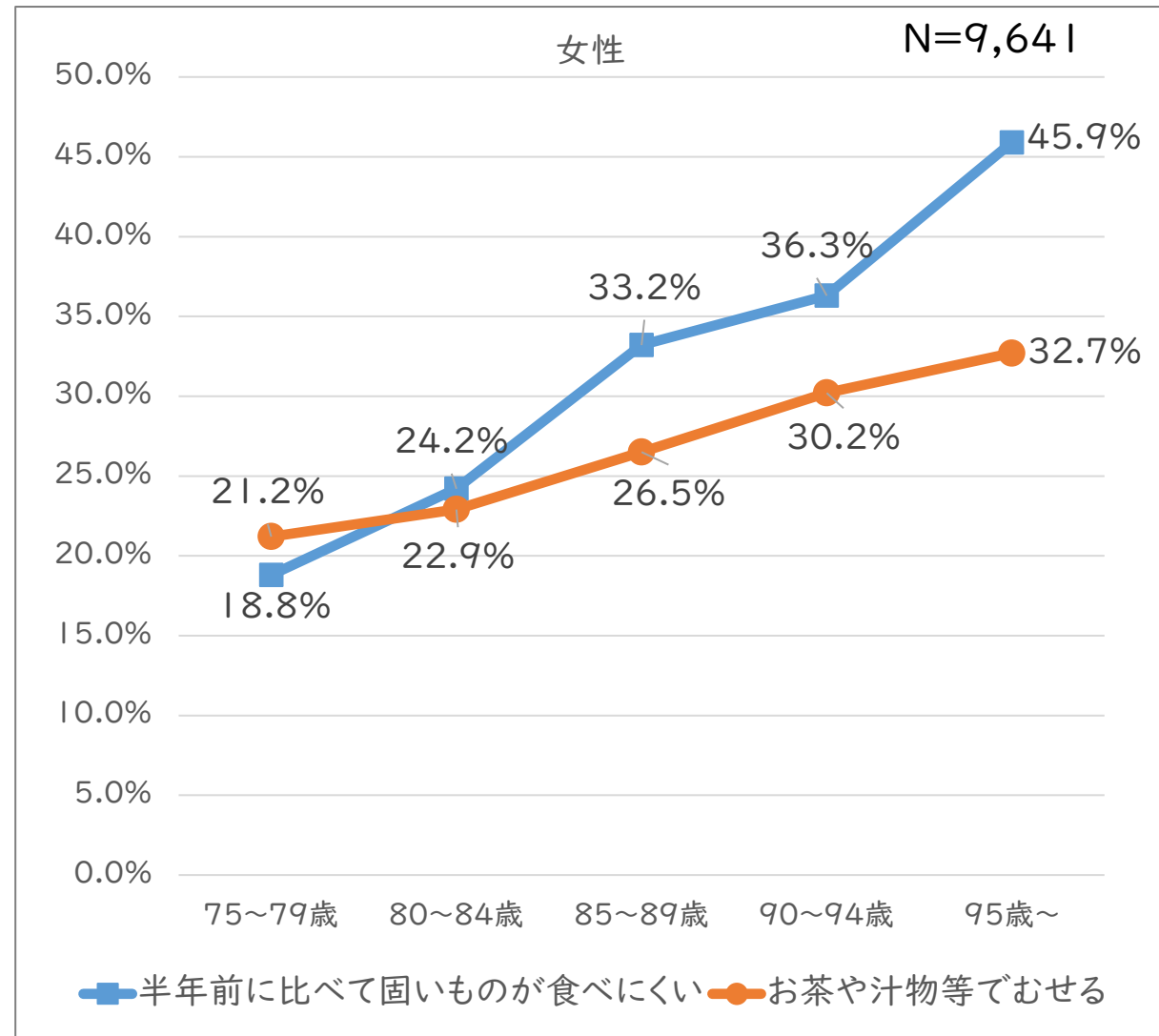
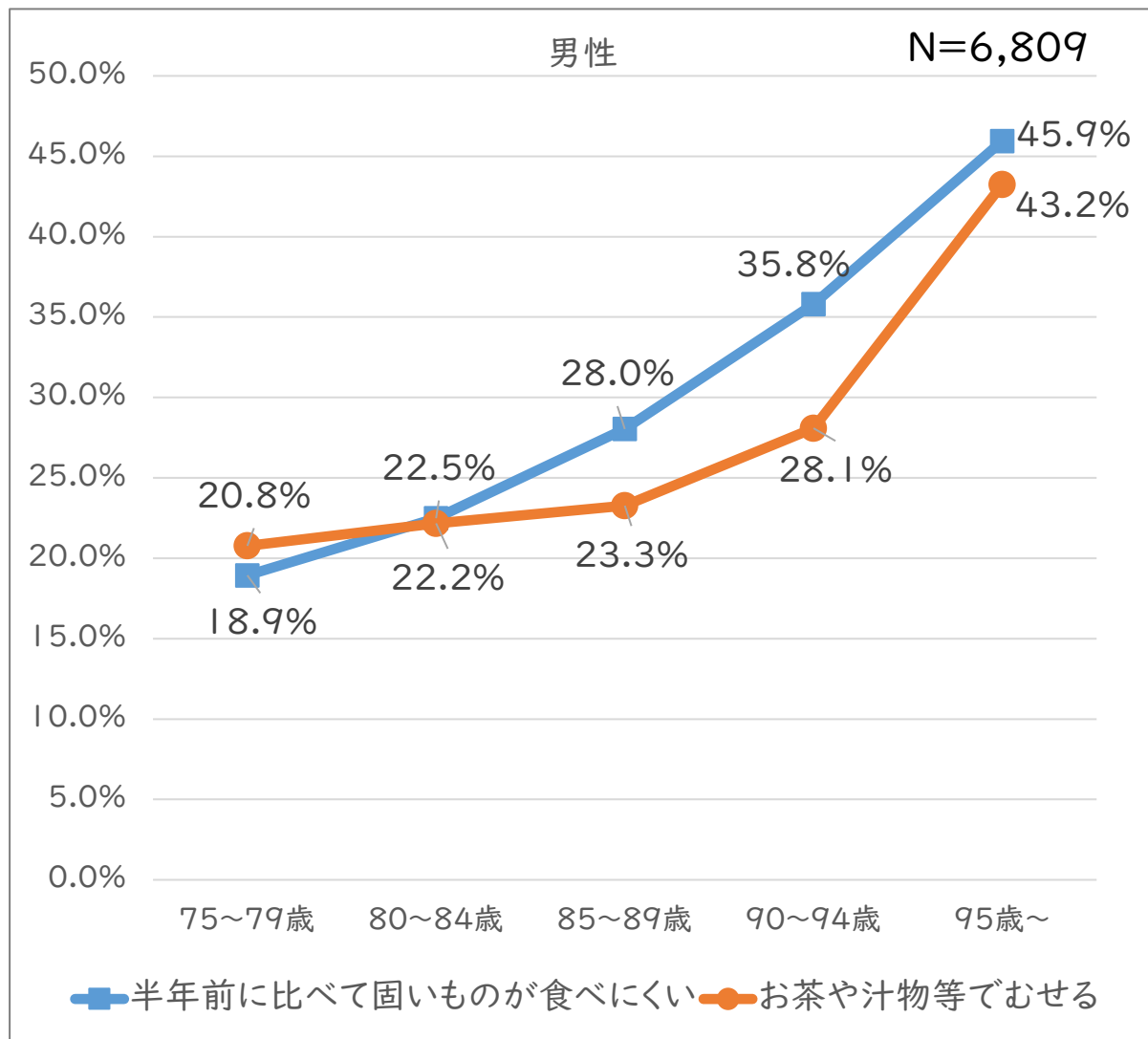
「お茶や汁物等でむせる」該当者の割合



出典：KDBが保有する後期高齢者医療健康診査質問表の結果から作成

いずれの項目も男性より女性の方が口腔機能低下者の割合がやや高いです。

16 後期高齢者医療健康診査の結果 口腔機能 男女別年齢別質問票項目該当者の割合（令和4年度）

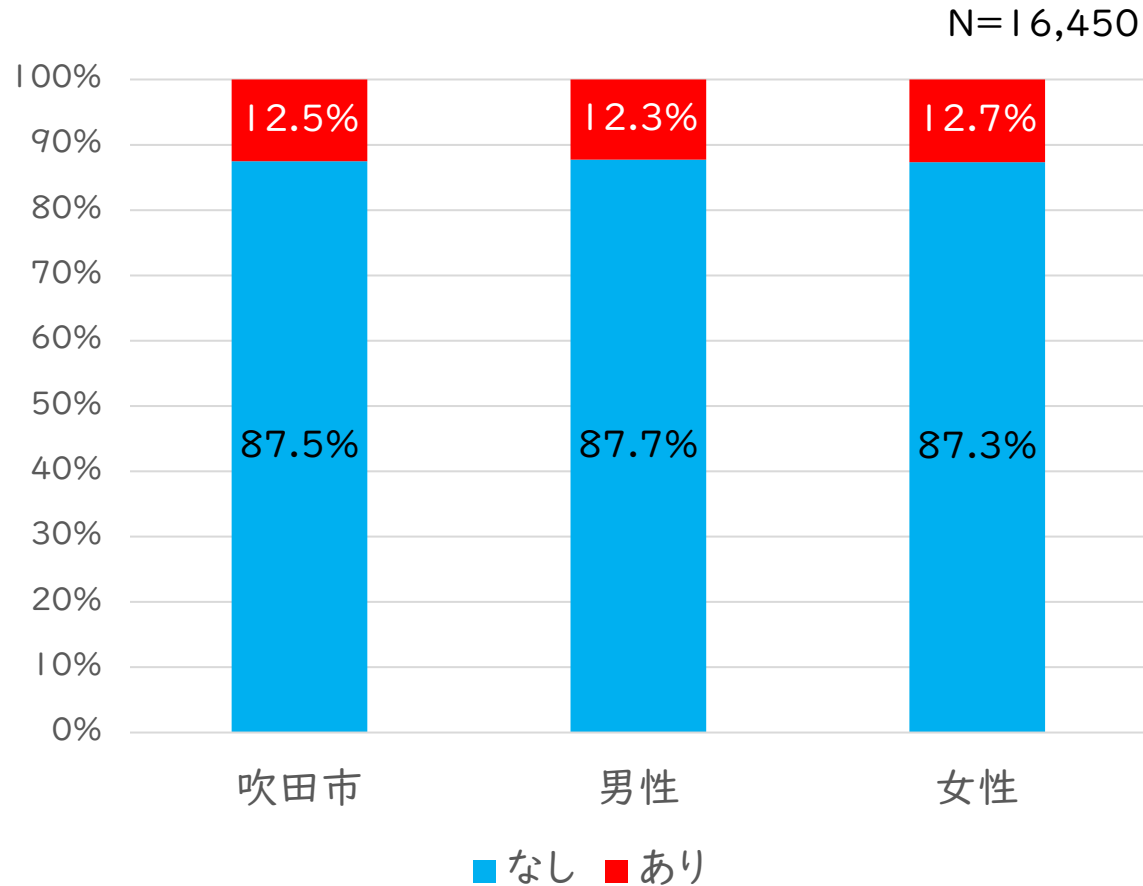


出典：KDBが保有する後期高齢者医療健康診査質問表の結果から作成

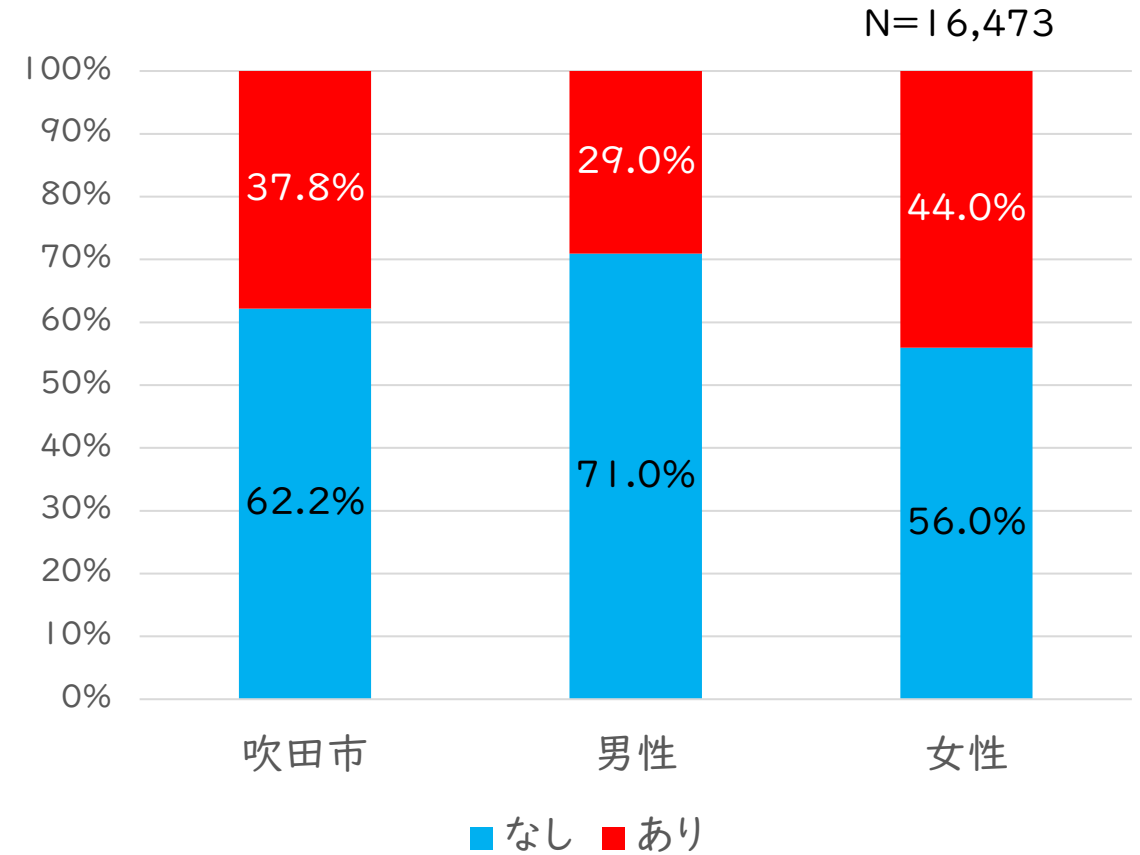
男女ともに固いものの咀嚼が困難な割合が高いです。高年齢程、口腔機能低下者の割合が高くなります。

17 後期高齢者医療健康診査の結果 男女別低栄養傾向の者の割合（令和4年度）

体重減少（「6カ月間で2～3kg以上の体重減少」）
該当者の割合



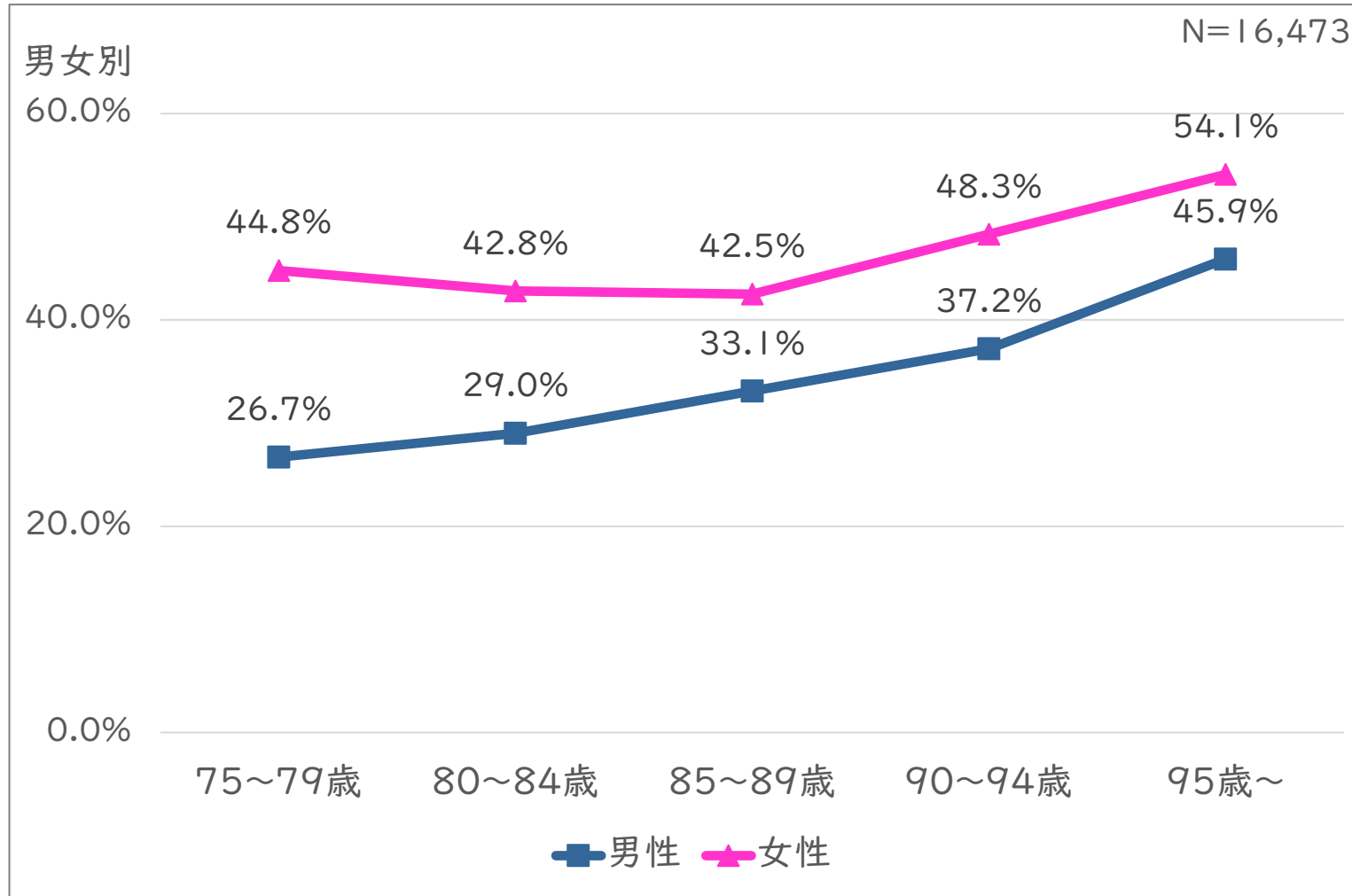
BMI 21.5未満該当者の割合



出典:KDBが保有する後期高齢者医療健康診査の結果から作成

体重減少該当者は約12%で、男女に差はありません。BMIで評価すると、女性が高い割合で該当しています。

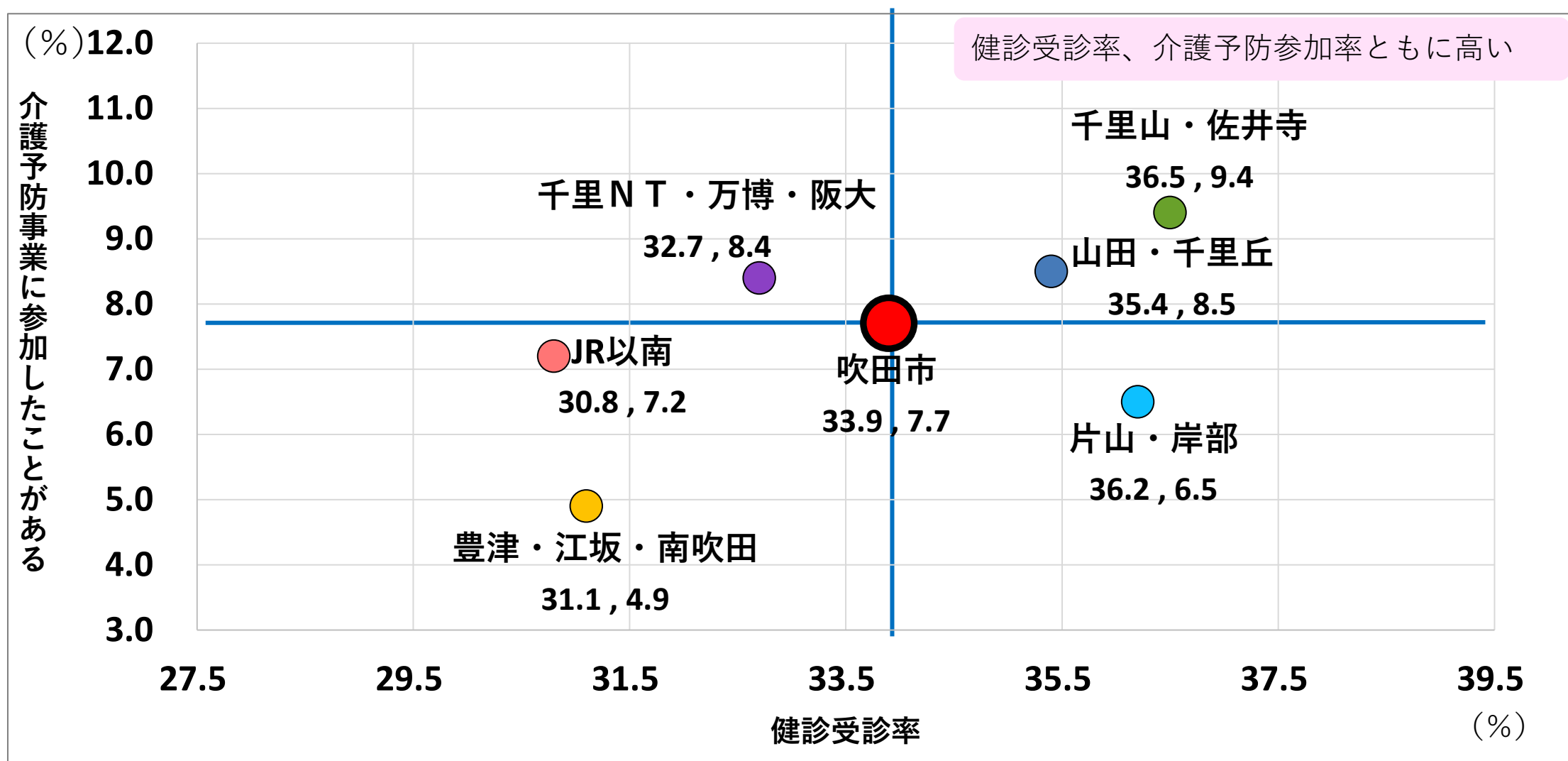
18 後期高齢者医療健康診査の結果 男女別年齢別BMI 21.5未満該当者の割合（令和4年度）



出典：KDBが保有する後期高齢者医療健康診査の結果から作成

年代が上がるごとにBMI21.5未満該当者の割合は高くなります。特に男性は、年齢との関連が強いです。女性では、もともと、BMI21.5未満該当者の割合が高く、75歳から89歳まではむしろ年齢が高くなると微減します。しかし、90歳を超えると増加します。

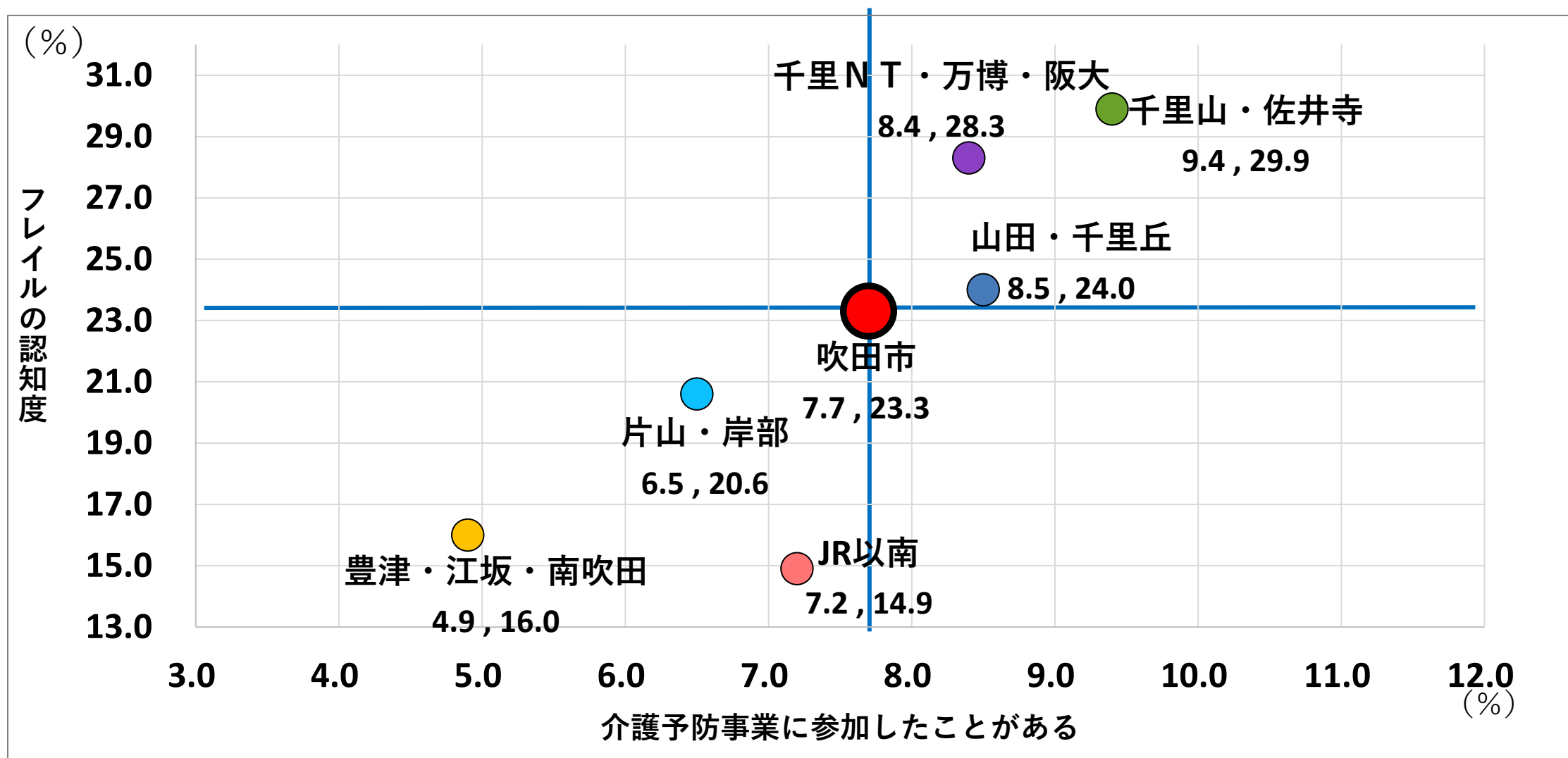
19 健診受診率と介護予防事業参加率



出典：健診受診率はKDBが保有する吹田市国保健康診査、後期高齢者医療健康診査結果から、介護予防事業参加率は第9期吹田健やか年輪プランにかかる高齢者等の生活と健康に関する調査から作成

健診受診率が高い圏域は、介護予防事業に参加したことがある人の割合も高い傾向にあります。

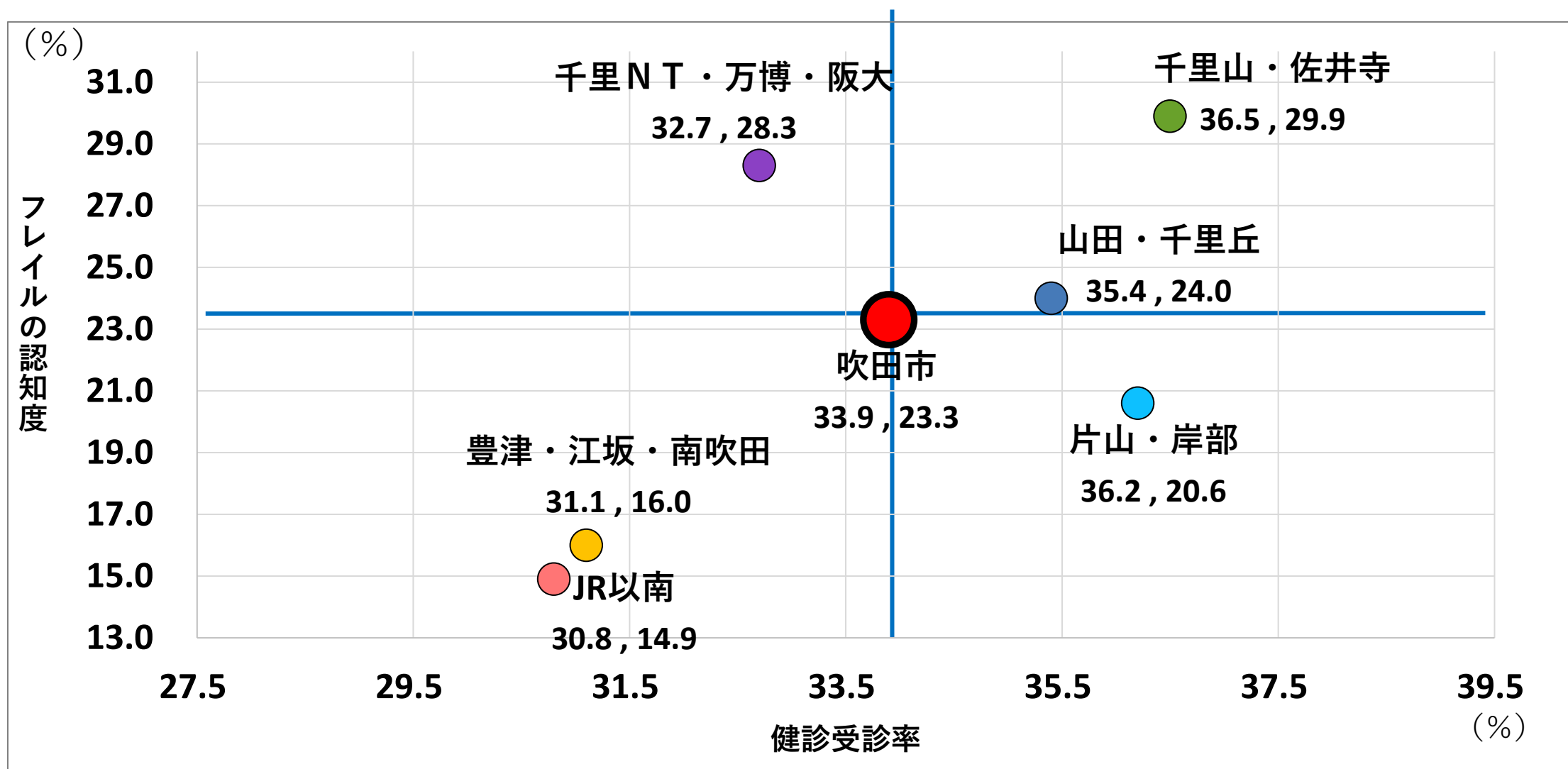
20 フレイルの認知度と介護予防事業参加率



出典：第9期吹田健やか年輪プランにかかる高齢者等の生活と健康に関する調査から作成

フレイルの認知度が高い圏域は、介護予防事業への参加率が高いです。

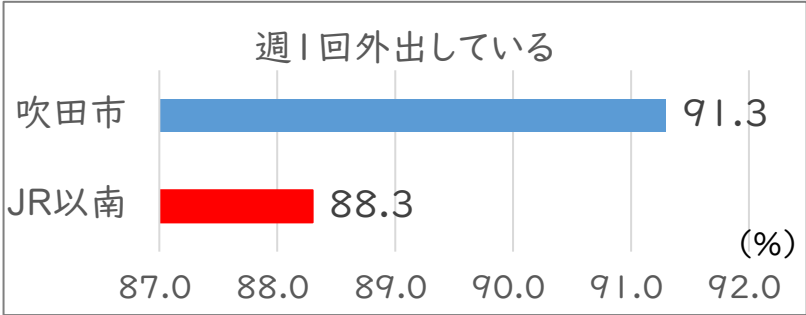
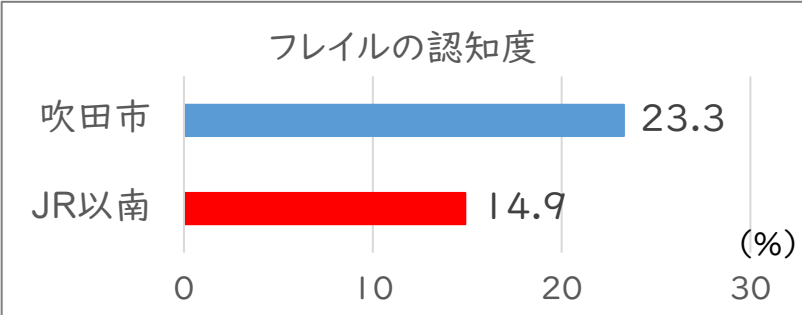
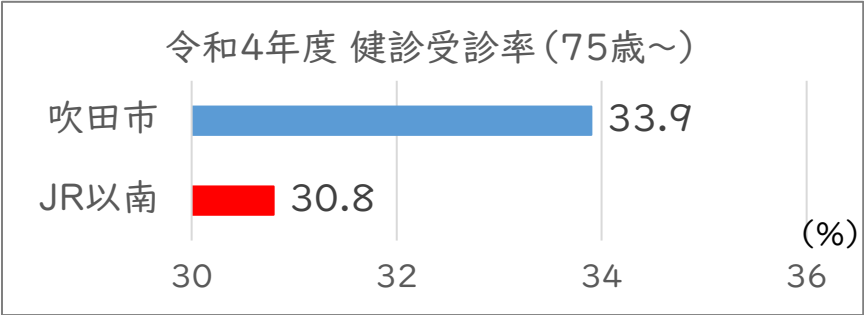
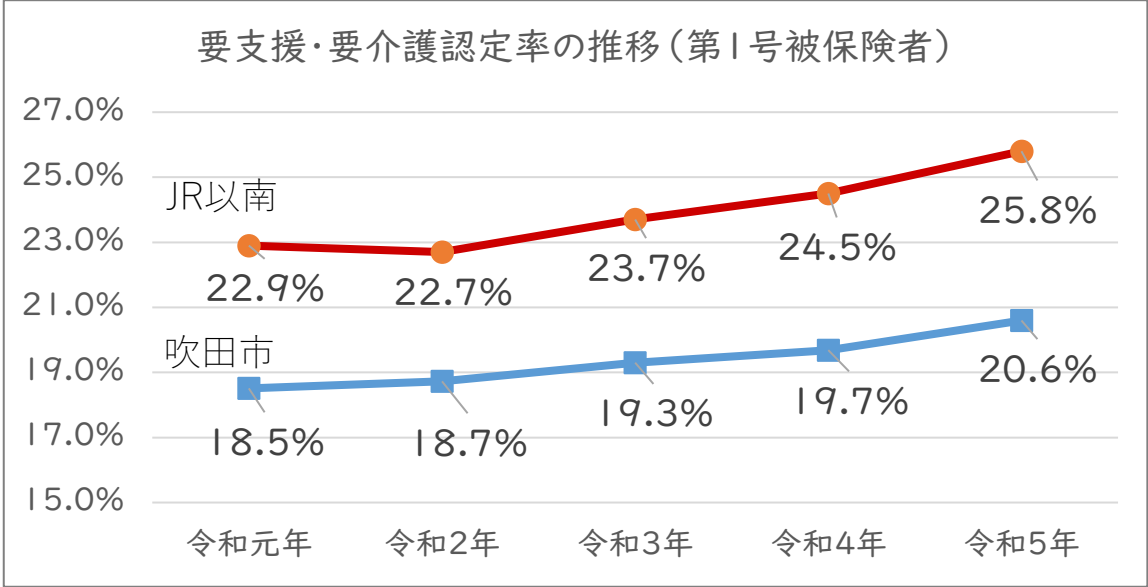
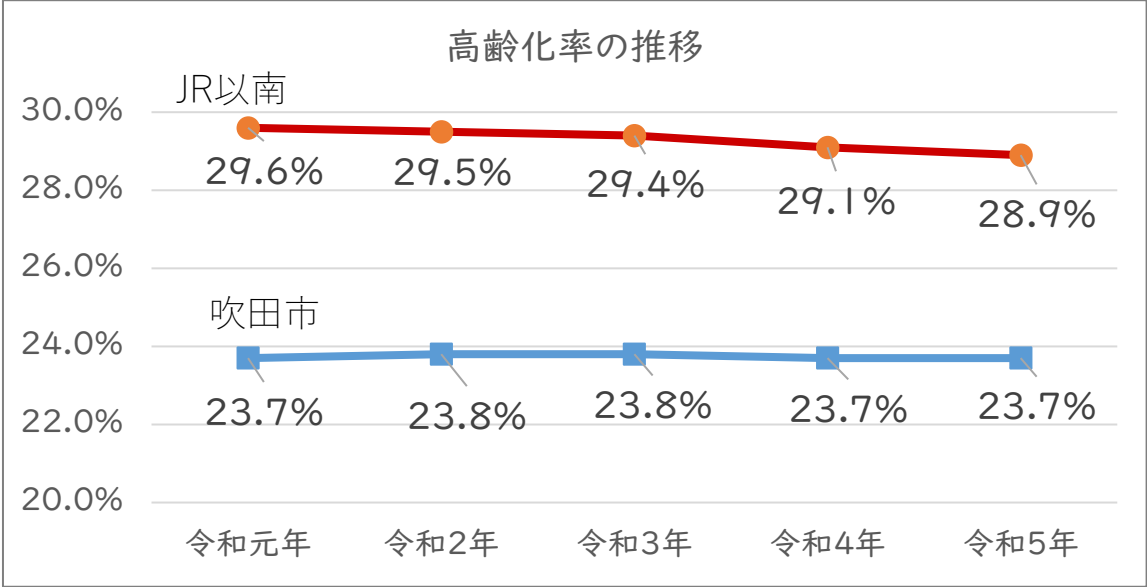
21 健診受診率とフレイルの認知度



出典：健診受診率はKDBが保有する吹田市国保健康診査、後期高齢者医療健康診査結果から、フレイルの認知度は第9期吹田健やか年輪プランにかかる高齢者等の生活と健康に関する調査から作成

フレイルの認知度が高い圏域は、健診受診率も高い傾向にあります。

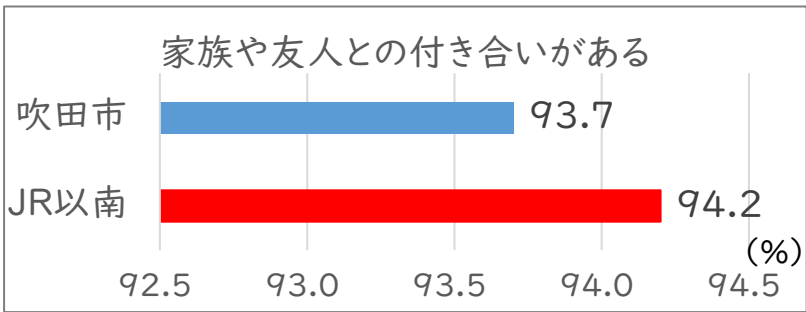
22 JR以南地域の状況



高齢化率と要支援・要介護認定率が圏域の中で1番高いです。（令和5年度）
また、健診受診率とフレイルの認知度、週1回外出している頻度が圏域の中で1番低いです。家族・友人との付き合いの頻度は圏域の中で1番高いです。

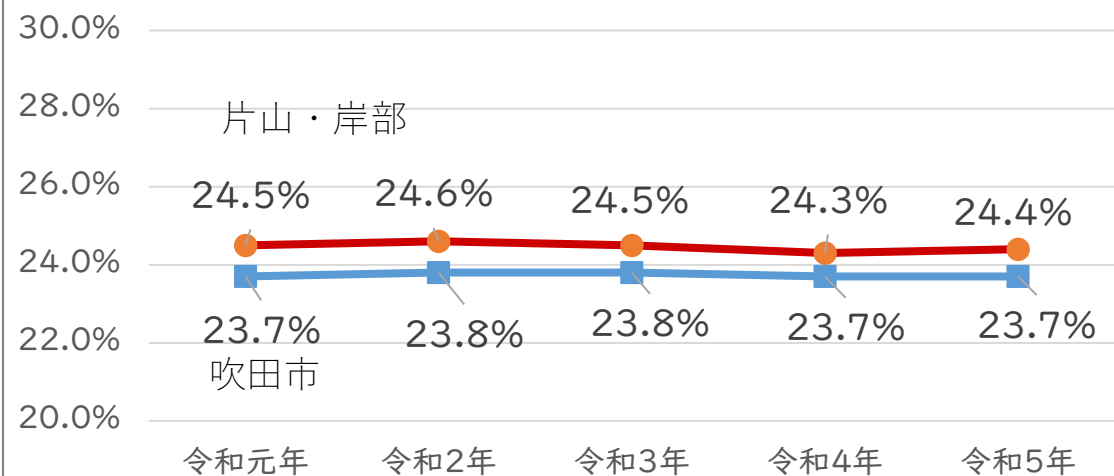
いきいき百歳体操グループ数 ※1	22 グループ
いきいき百歳体操参加人数 ※2	533 人
ひろばde体操実施箇所数 ※3	3 箇所
介護予防事業に参加している人の割合	7.2 %

※1、※2、※3は2024年3月末現在

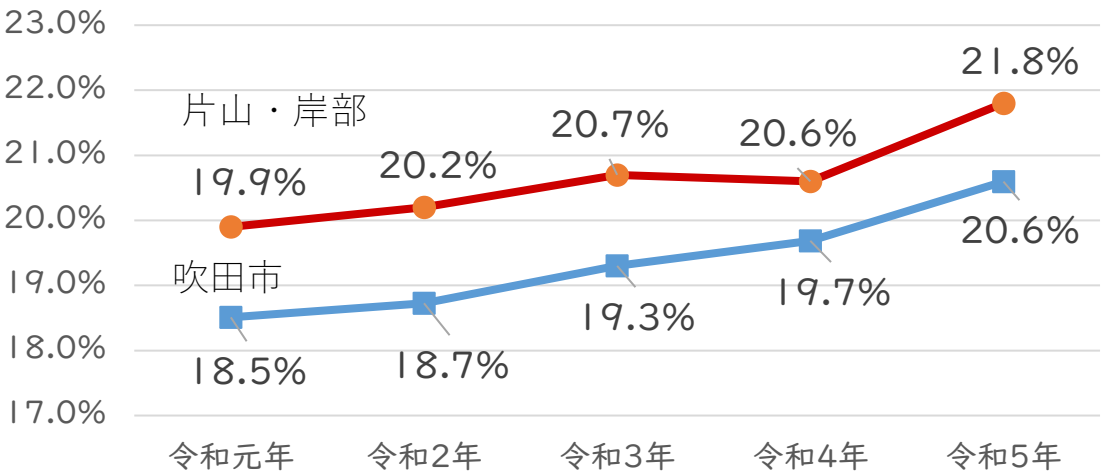


23 片山・岸部地域の状況

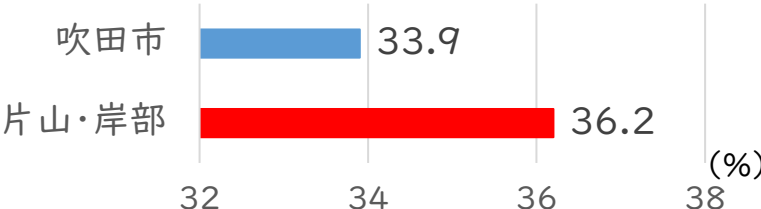
高齢化率の推移



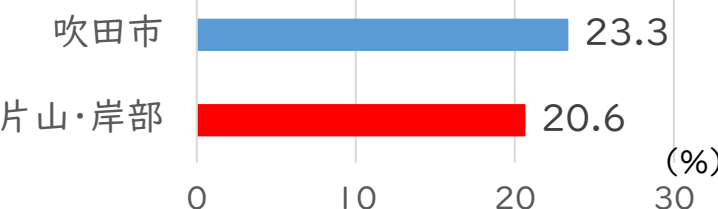
要支援・要介護認定率の推移（第1号被保険者）



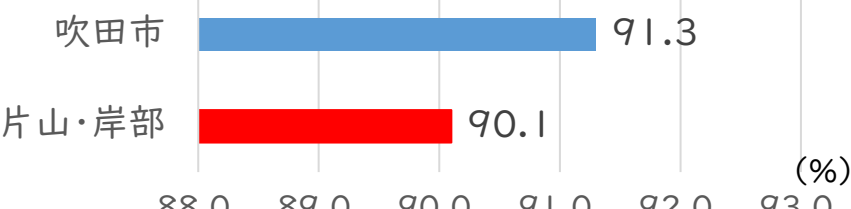
令和4年度 健診受診率（75歳～）



フレイルの認知度



週1回外出している

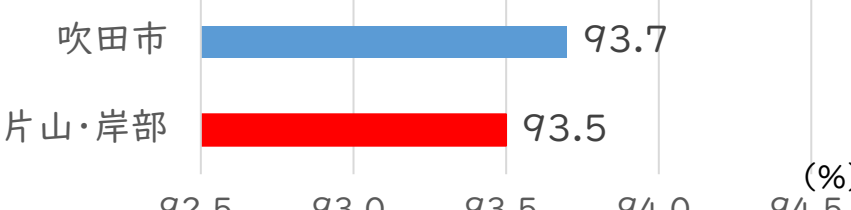


要支援・要介護認定率が圏域の中で3番目に高いです。（令和5年度）
また、健診受診率は圏域の中で2番目に高いですが、週1回外出している頻度が圏域の中で2番目に低いです。

いきいき百歳体操グループ数 ※1	25 グループ
いきいき百歳体操参加人数 ※2	544 人
ひろばde体操実施箇所数 ※3	2 箇所
介護予防事業に参加している人の割合	6.5 %

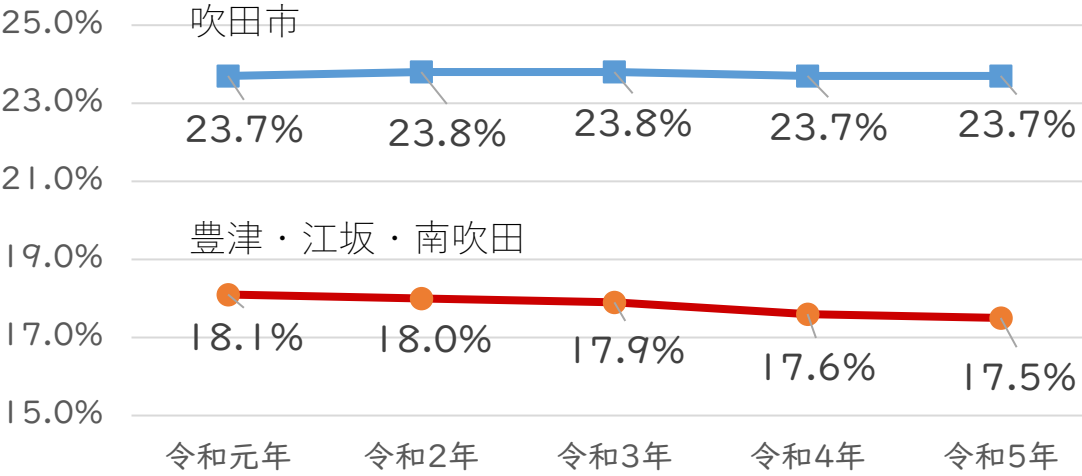
※1、※2、※3は2024年3月末現在

家族や友人との付き合いがある

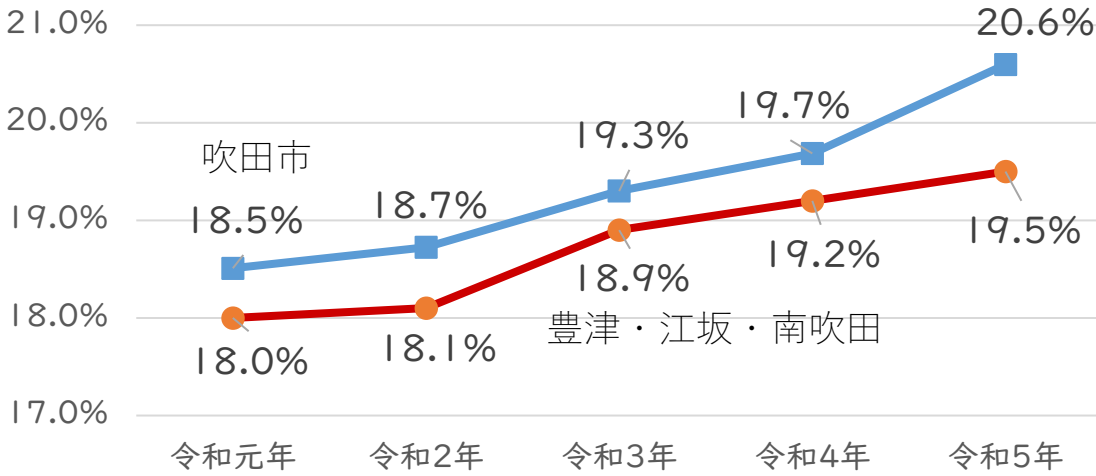


24 豊津・江坂・南吹田地域の状況

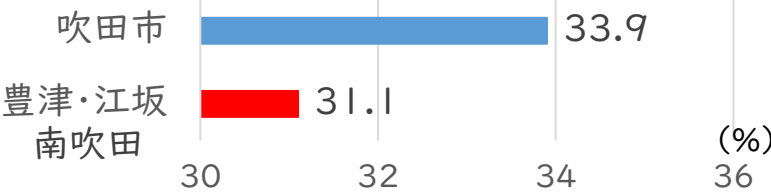
高齢化率の推移



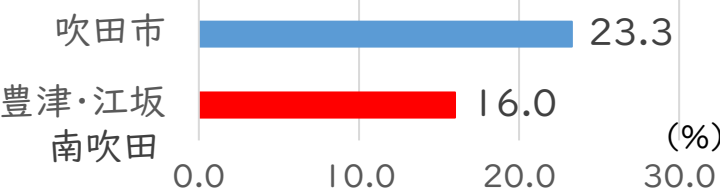
要支援・要介護認定率の推移（第1号被保険者）



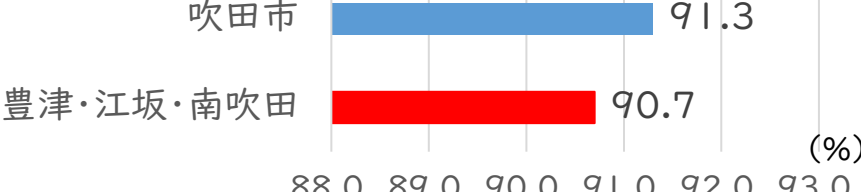
令和4年度 健診受診率（75歳～）



フレイルの認知度



週1回外出している

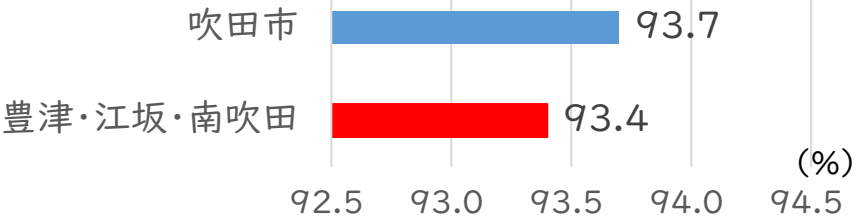


高齢化率が圏域の中で一番低いです。（令和5年度）また、健診受診率とフレイルの認知度が圏域の中で2番目に低く、家族・友人との付き合いの頻度は圏域の中で1番低いです。

いきいき百歳体操グループ数 ※1	11 グループ
いきいき百歳体操参加人数 ※2	303 人
ひろばde体操実施箇所数 ※3	3 箇所
介護予防事業に参加している人の割合	4.9 %

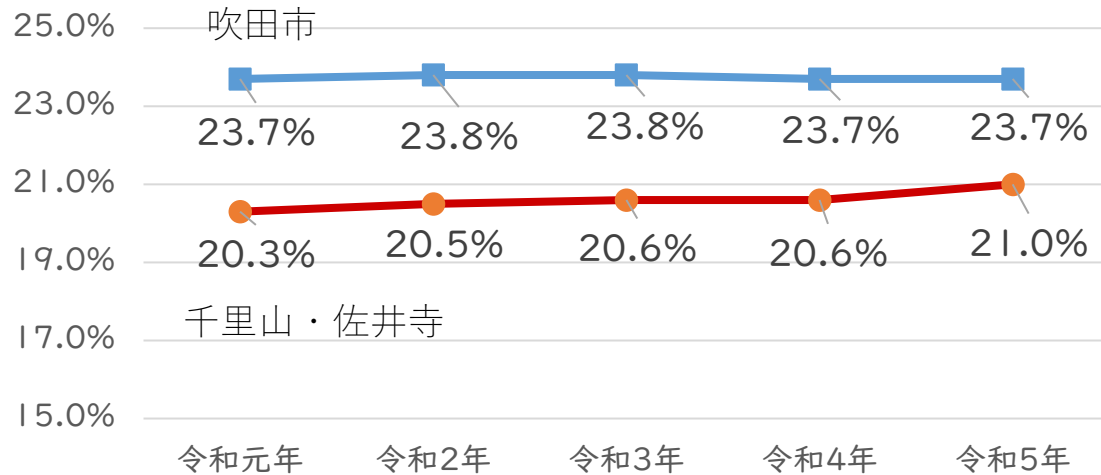
※1、※2、※3は2024年3月末現在

家族や友人との付き合いがある

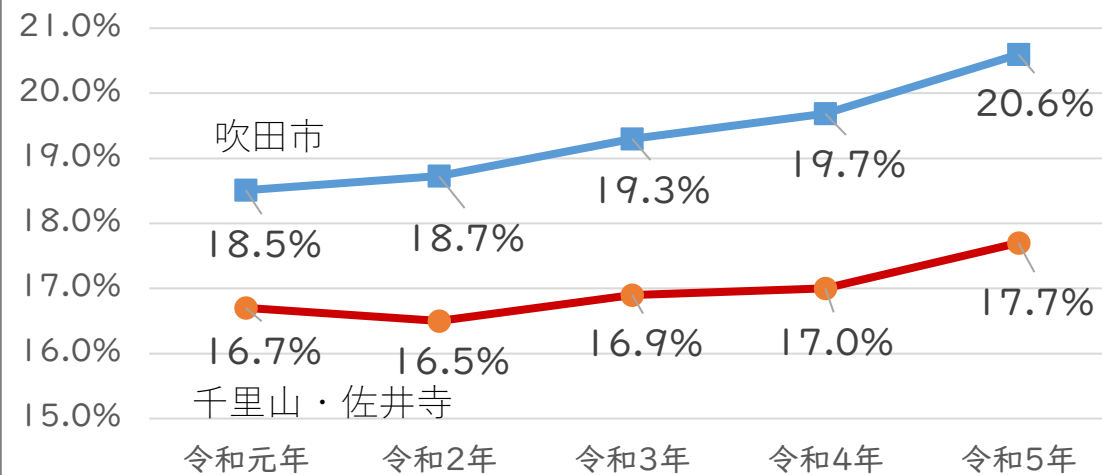


25 千里山・佐井寺地域の状況

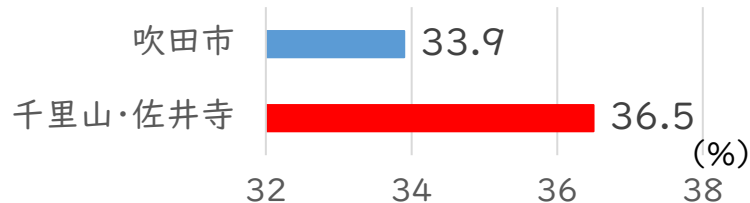
高齢化率の推移



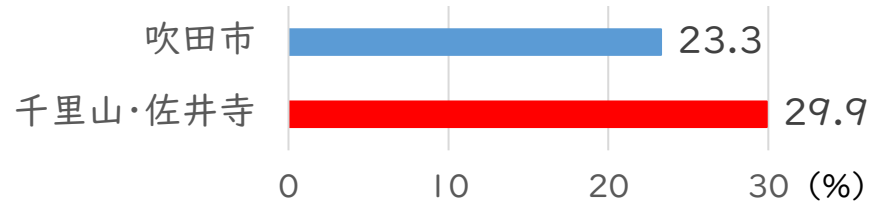
要支援・要介護認定率の推移（第1号被保険者）



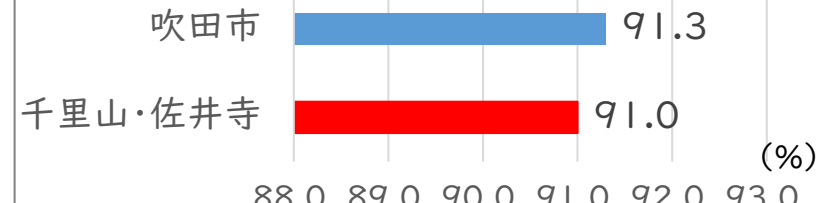
令和4年度 健診受診率（75歳～）



フレイルの認知度



週1回外出している

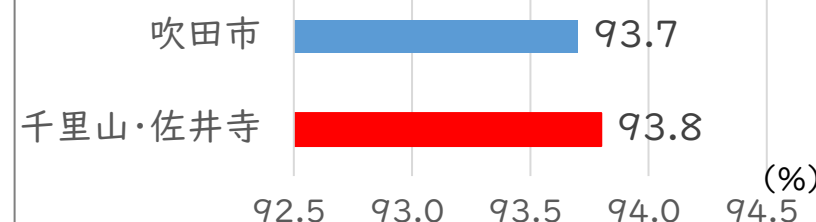


高齢化率と要支援・要介護認定率が圏域の中で2番目に低いです。
（令和5年度）また、健診受診率とフレイルの認知度は圏域の中で1番高いです。

いきいき百歳体操グループ数 ※1	24 グループ
いきいき百歳体操参加人数 ※2	356 人
ひろばde体操実施箇所数 ※3	3 箇所
介護予防事業に参加している人の割合	9.4 %

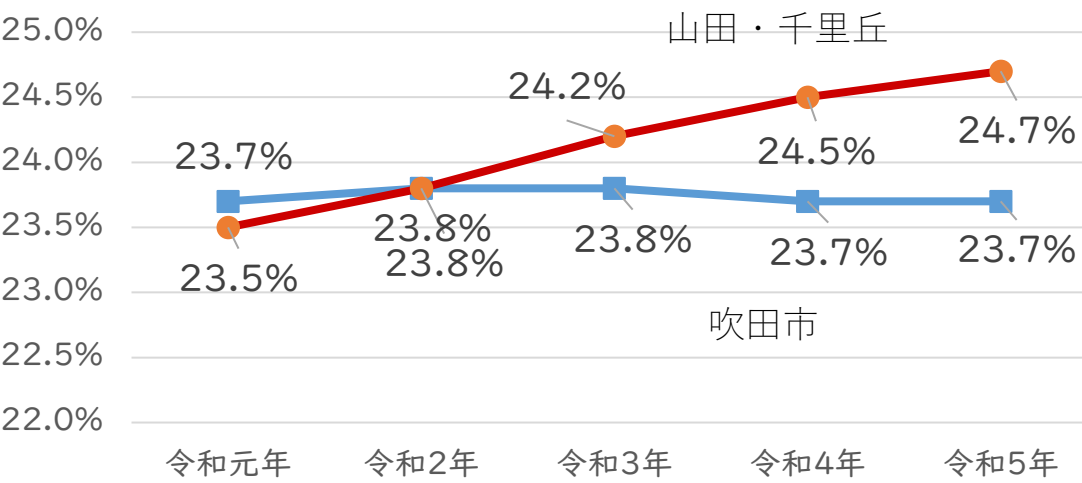
※1、※2、※3は2024年3月末現在

家族や友人との付き合いがある

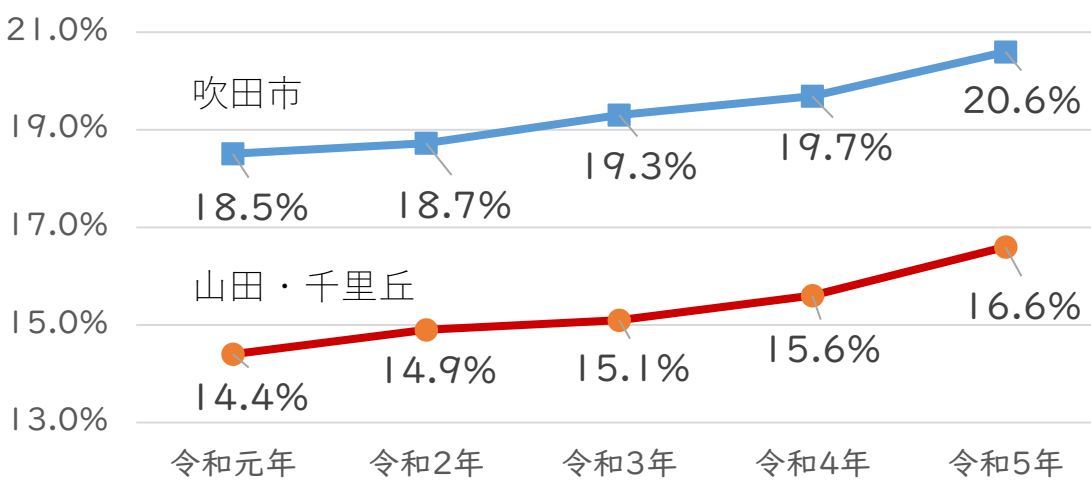


26 山田・千里丘地域の状況

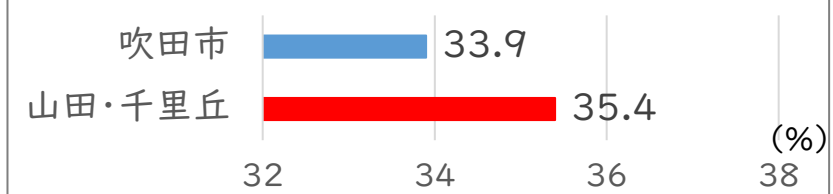
高齢化率の推移



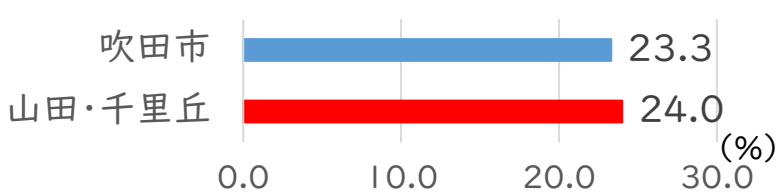
要支援・要介護認定率の推移（第1号被保険者）



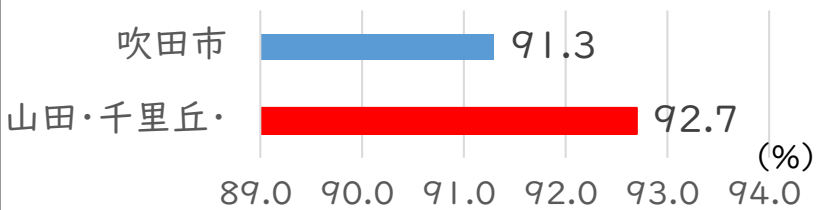
令和4年度 健診受診率（75歳～）



フレイルの認知度



週1回外出している

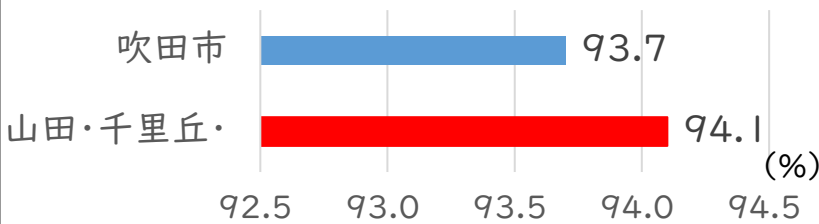


高齢化率は圏域の中で3番目に高いですが、要支援・要介護認定率は圏域の中で1番低いです。（令和5年度）また、健診受診率とフレイルの認知度は圏域の中で3番目に高く、週1回外出している頻度は圏域の中で1番高いです。家族や友人との付き合いの頻度は2番目に高いです。

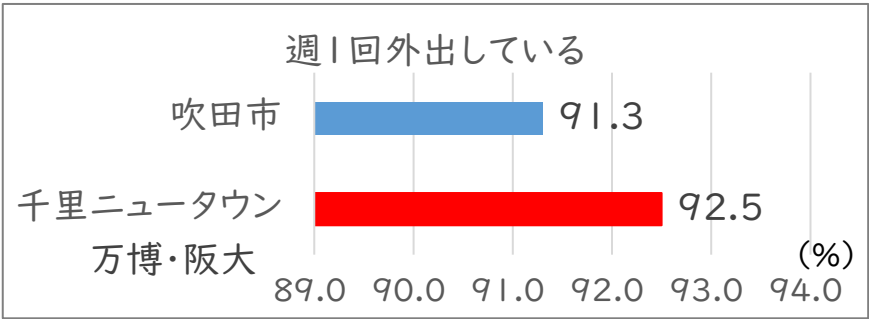
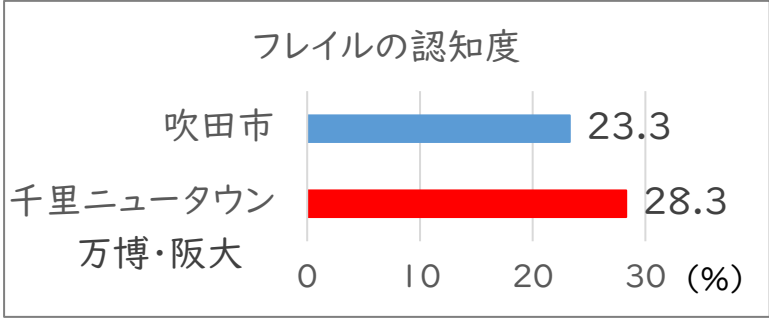
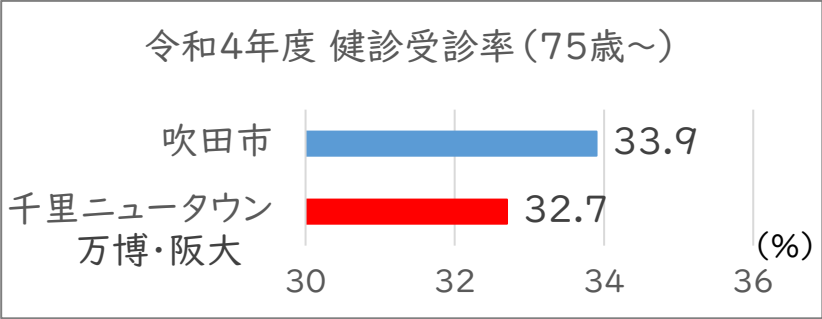
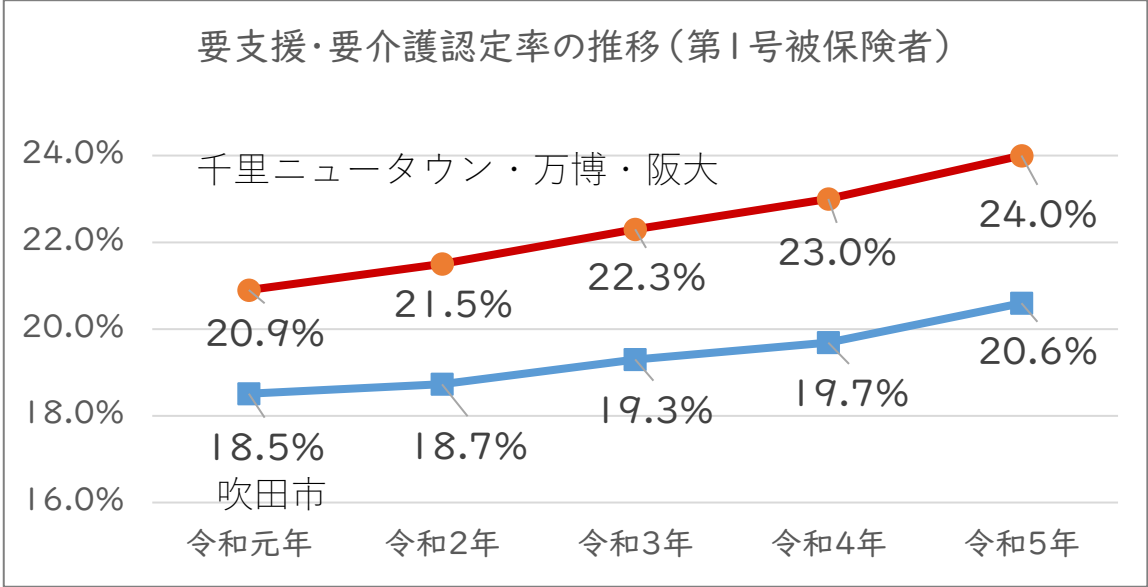
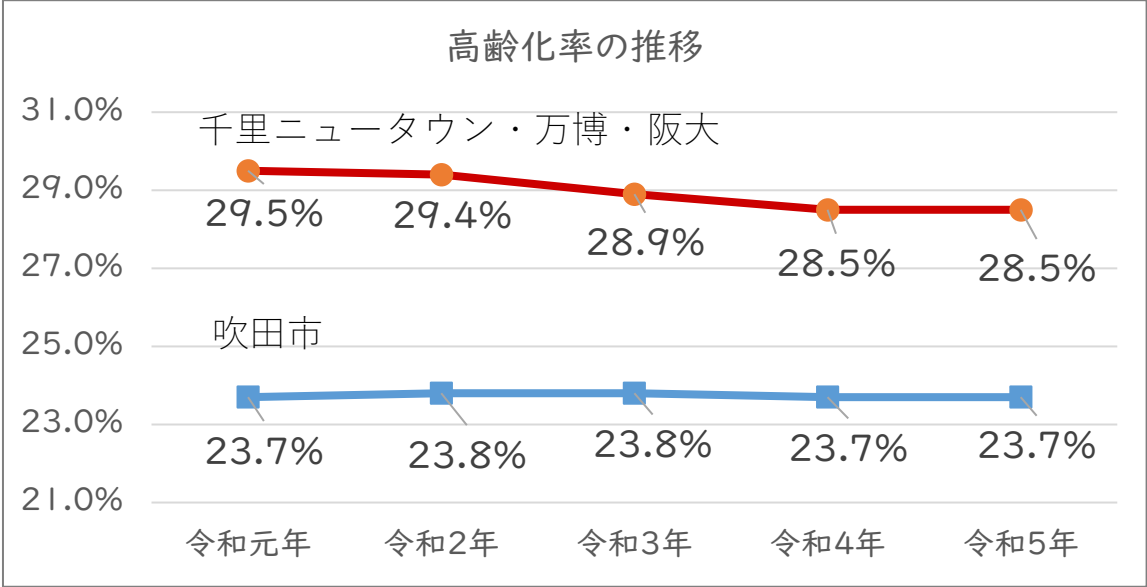
いきいき百歳体操グループ数 ※1	53 グループ
いきいき百歳体操参加人数 ※2	1,050 人
ひろばde体操実施箇所数 ※3	4 箇所
介護予防事業に参加している人の割合	8.5 %

※1、※2、※3は2024年3月末現在

家族や友人との付き合いがある



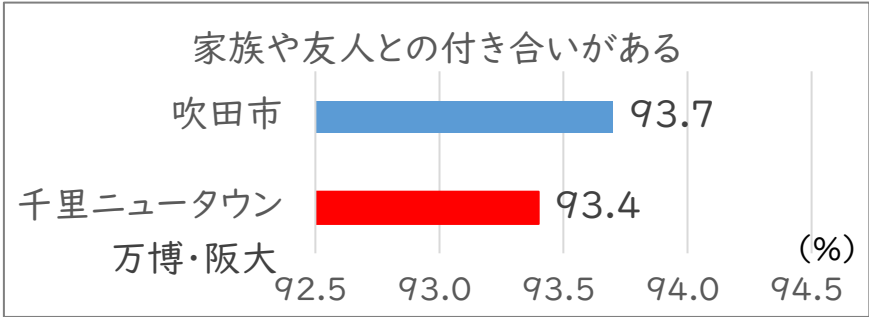
27 千里ニュータウン・万博・阪大地域の状況



高齢化率と要支援・要介護認定率（令和5年度）、フレイルの認知度、週1回外出している頻度は圏域の中で2番目に高いです。また、家族・友人との付き合いの頻度は圏域の中で1番低いです。

いきいき百歳体操グループ数 ※1	37 グループ
いきいき百歳体操参加人数 ※2	692 人
ひろばde体操実施箇所数 ※3	6 箇所
介護予防事業に参加している人の割合	8.4 %

※1、※2、※3は2024年3月末現在



28 用語説明

BMI（Body Mass Index）

体重と身長の関係から算出される、ヒトの肥満度を表す体格指数。
計算式は 体重（kg）÷ 身長（m）÷ 身長（m）

KDB

国保データベースシステム。国民健康保険の保険者や後期高齢者医療広域連合が、保健事業の計画や実施を行うために、「健診・保健指導」、「医療」、「介護」の各種データを活用して、統計情報や個人の健康に関するデータを作成するシステム。国民健康保険中央会が開発。

圏域

日常生活圏域のこと。平成18年度（2006年度）の介護保険制度改正により、高齢者が住み慣れた地域でサービスが利用できるよう、第3期計画（2006-2008）から地理的条件、人口、交通事情その他社会的条件を総合的に勘案して「日常生活圏域」が設定されている。

前期高齢者

65～74歳の人。

後期高齢者

75歳以上の人。

後期高齢者医療健康診査

後期高齢者医療被保険者を対象に無料で実施されている健康診査。糖尿病や高血圧等の生活習慣病に加え、加齢に伴う心身の衰え（フレイル）等のチェックをする。

吹田市国保健康診査

吹田市国民健康保険被保険者で、今年度の誕生日で40歳から74歳になる人を対象に、メタボリックシンドロームに着目した健康診査を無料で実施している。

フレイル

年齢とともに心身の活力（筋力や認知機能など）が低下して、要介護状態に近づくこと。対策をとれば、健康な状態に戻ることも可能。

【吹田市日常生活圏域】

